１．調査の概要

（１）調査期間

令和５年８月７日（月）～８月 31 日（木）

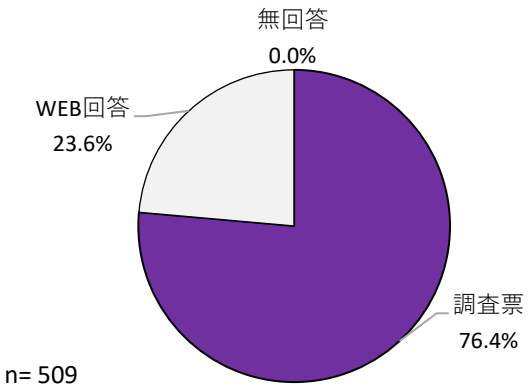
（２）調査対象・調査方法

対象者属性	調査方法
地区別男女別年齢階層別に抽出	郵送による配布、 郵送による回収、WEB 回答

（３）配布・回収数

１）配布・回収数の概要

種類	配布数	回収数	回収率
町民意識調査	1,500 部	509 部 （うち WEB 回答 120 部）	33.9%

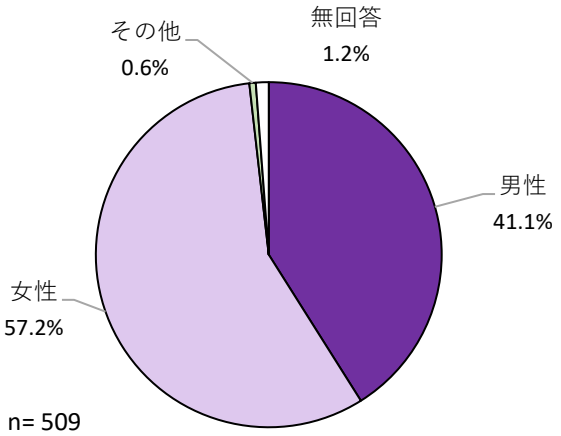


２）回答者属性

イ．性別

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1　男性	209	41.1
2　女性	291	57.2
3　その他	3	0.6
無回答	6	1.2

有効票数 ＝ 509

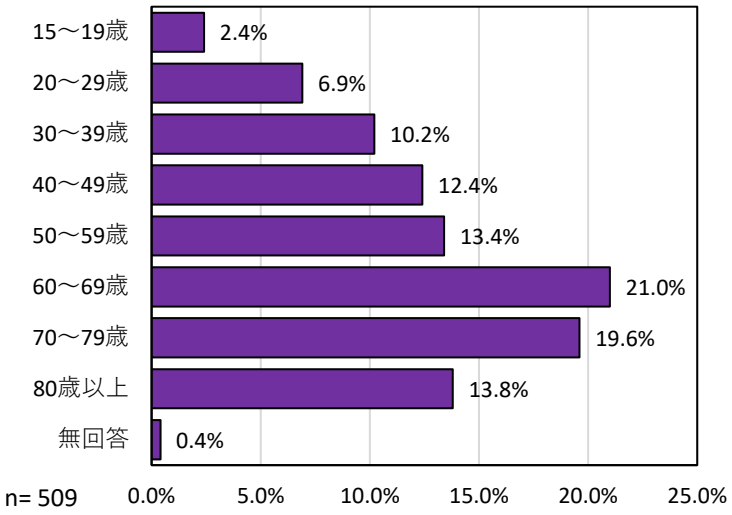


回答者の性別は「女性」が 291 人（57.2%）、「男性」209 人（41.1%）、「その他」が 3 人（0.6%）となっています。

ロ．年齢

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1　15～19歳	12	2.4
2　20～29歳	35	6.9
3　30～39歳	52	10.2
4　40～49歳	63	12.4
5　50～59歳	68	13.4
6　60～69歳	107	21.0
7　70～79歳	100	19.6
8　80歳以上	70	13.8
無回答	2	0.4

有効票数 ＝ 509

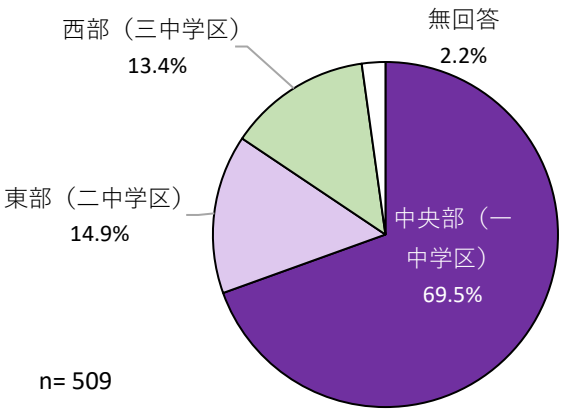


回答者の年齢は「60～69 歳」が 107 人（21.0%）と最も高く、次いで「70～79 歳」100 人（19.6%）、「50～59 歳」が 68 人（13.4%）の順で高くなっています。回答者の 54.4% が 60 歳以上となっています。

ハ．住まいの地域について

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1　中央部（一中学区）	354	69.5
2　東部（二中学区）	76	14.9
3　西部（三中学区）	68	13.4
無回答	11	2.2

有効票数 = 509



回答者の住まいの地域は「中央部（一中学区）」354 人（69.5%）、「東部（二中学区）」76 人（14.9%）、「西部（三中学区）」68 人（13.4%）となっています。

（５）留意点・見方

・図表の数値（%）は、すべて小数点以下第 2 位を四捨五入して表示している。そのため、単数回答を求めた設問でも、比率の合計が 100%にならない場合がある。

・複数回答（MA）を求めた設問では、比率の合計が 100%を超える。

２．調査結果

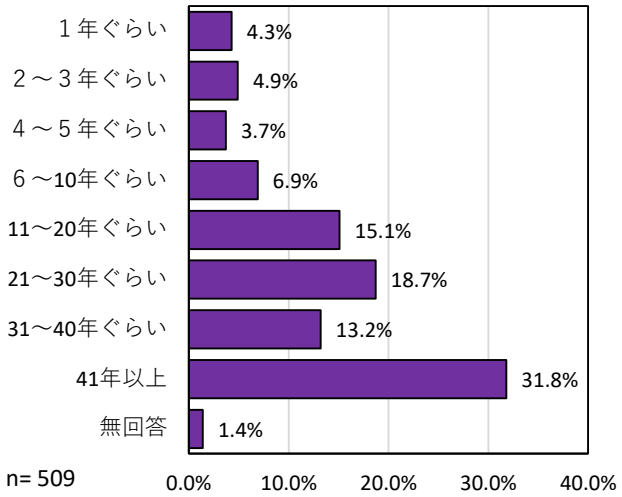
（１）あなたについて

問１　あなたについておたずねします。（それぞれ○は１つ）

ニ．現在のお住まいでの居住年数

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1　1年ぐらい	22	4.3
2　2～3年ぐらい	25	4.9
3　4～5年ぐらい	19	3.7
4　6～10年ぐらい	35	6.9
5　11～20年ぐらい	77	15.1
6　21～30年ぐらい	95	18.7
7　31～40年ぐらい	67	13.2
8　41年以上	162	31.8
無回答	7	1.4

有効票数 = 509



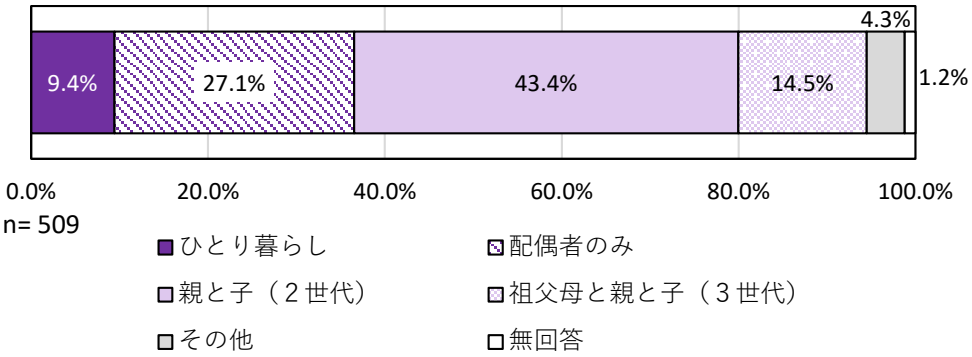
現在の住まいでの居住年数は、「41 年以上」が最も多く 162 人（31.8%）、次いで「21～30 年ぐらい」95 人（18.7%）、「11～20 年ぐらい」77 人（15.1%）の順で多くなっています。

ホ．世帯構成

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1　ひとり暮らし	48	9.4
2　配偶者のみ	138	27.1
3　親と子（2世代）	221	43.4
4　祖父母と親と子（3世代）	74	14.5
5　その他	22	4.3
無回答	6	1.2

有効票数 = 509

回答者の世帯構成は「親と子（2 世代）」221 人（43.4%）が最も多く、次いで「配偶者のみ」138 人（27.1%）、「祖父母と親と子（3 世代）」74 人（14.5%）の順で多くなっています。

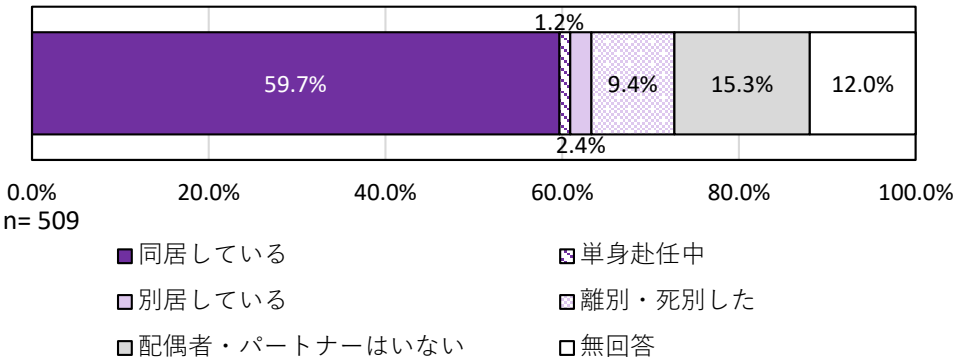


へ．配偶者との現在の関係

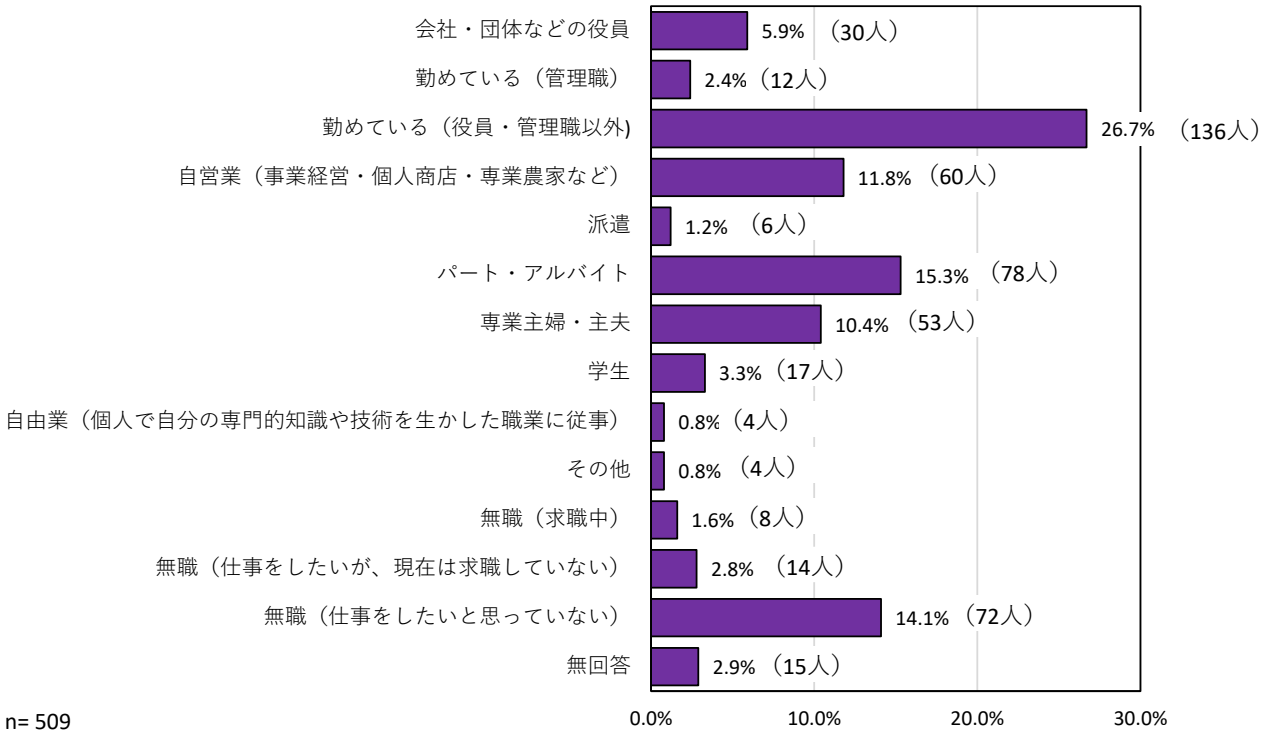
選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 同居している	304	59.7
2 単身赴任中	6	1.2
3 別居している	12	2.4
4 離別・死別した	48	9.4
5 配偶者・パートナーはいない	78	15.3
無回答	61	12.0

有効票数 = 509

回答者の配偶者との現在の関係は「同居している」304 人（59.7%）が最も多く、次いで「配偶者･パートナーはいない」78 人（15.3%）、「離別・死別した」48 人（9.4%）の順で多くなっています。



ト．主たる職業



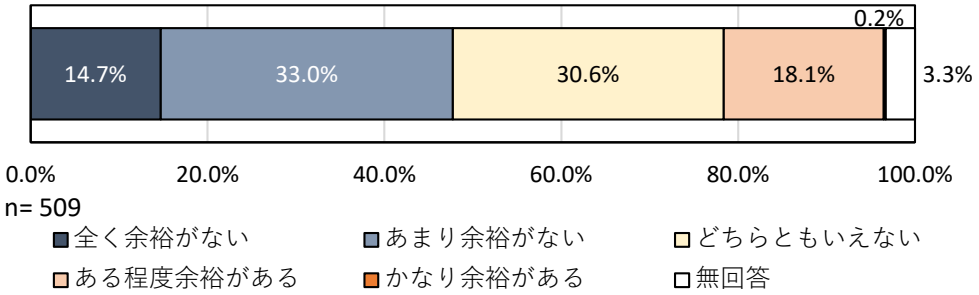
主たる職業は「勤めている（役員・管理職以外）」が最も多く 136 人（26.7%）、次いで「パート・アルバイト」78 人（15.3%）、「無職（仕事をしたいと思っていない」72 人（14.1%）の順で多くなっています。

チ．家庭の家計の余裕について

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1　全く余裕がない	75	14.7
2　あまり余裕がない	168	33.0
3　どちらともいえない	156	30.6
4　ある程度余裕がある	92	18.1
5　かなり余裕がある	1	0.2
無回答	17	3.3

有効票数 ＝ 509

家計の余裕については、「あまり余裕がない」が最も多く168人（33.0%）、次いで「どちらともいえない」156人（30.6%）、「ある程度余裕がある」92人（18.1%）の順で多くなっています。



（２）あなたの悩みやストレスに関して

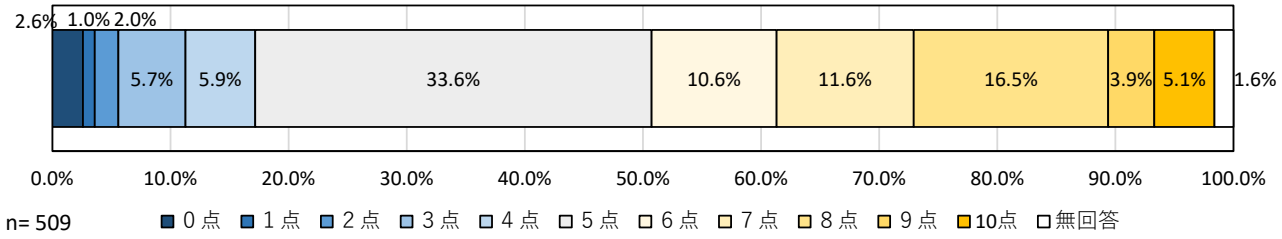
問２　現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても不幸せ（0点）」から「とても幸せ（10点）」の間で表すと何点だと思いますか。

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1　0点	13	2.6
2　1点	5	1.0
3　2点	10	2.0
4　3点	29	5.7
5　4点	30	5.9
6　5点	171	33.6
7　6点	54	10.6
8　7点	59	11.6
9　8点	84	16.5
10　9点	20	3.9
11　10点	26	5.1
無回答	8	1.6

有効票数 ＝ 509

回答者の幸福度は、「5点」171人（33.6%）が最も多く、次いで「8点」84人（16.5%）、「7点」59人（11.6%）の順で多くなっています。

回答者の平均点は5.8点となっています。



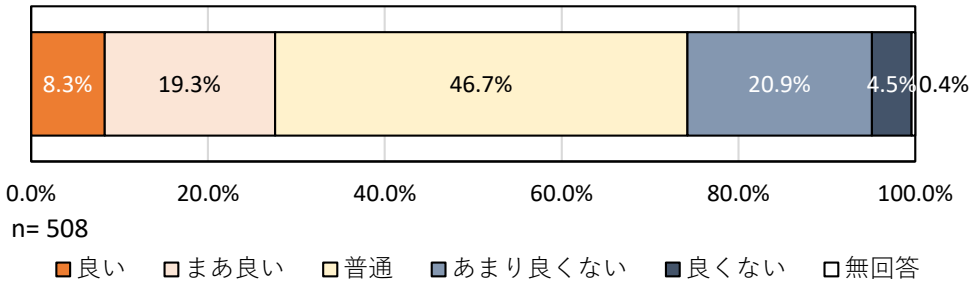
問３　あなたの、現在の健康状態は、いかがですか。

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1　良い	42	8.3
2　まあ良い	98	19.3
3　普通	237	46.7
4　あまり良くない	106	20.9
5　良くない	23	4.5
無回答	2	0.4

有効票数 = 508

健康状態は「普通」237 人（46.7%）が最も多く、次いで「あまり良くない」106 人（20.9%）、「まあ良い」98 人（19.3%）の順で多くなっています。

「良い」「まあ良い」の合計は 27.6%、「良くない」「あまり良くない」の合計は 25.4%となっています。



【男性：年代別】

男性		良い	まあ良い	普通	あまり良くない	良くない	無回答	計
15～19 歳	人	0	3	0	0	0	0	3
	%	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
20 代	人	1	4	5	2	1	0	13
	%	7.7	30.8	38.5	15.4	7.7	0.0	100.0
30 代	人	5	6	7	1	0	0	19
	%	26.3	31.6	36.8	5.3	0.0	0.0	100.0
40 代	人	1	4	9	4	0	0	18
	%	5.6	22.2	50.0	22.2	0.0	0.0	100.0
50 代	人	3	5	9	11	1	0	29
	%	10.3	17.2	31.0	37.9	3.4	0.0	100.0
60 代以上	人	7	15	60	34	11	0	127
	%	5.5	11.8	47.2	26.8	8.7	0.0	100.0

※□は最も高い数値、□は２番目に高いもの、□は３番目に高いもの

男性の“30 代”以下では「良い」「まあ良い」を合わせた割合が高く、“40 代”と“60 代”以上では「普通」がおよそ半数を占め、“50 代”では「あまり良くない」「良くない」を合わせると 4 割以上を占めている。

【女性：年代別】

女性		良い	まあ良い	普通	あまり良くない	良くない	無回答	計
15～19 歳	人	2	1	5	0	0	0	8
	%	25.0	12.5	62.5	0.0	0.0	0.0	100.0
20 代	人	3	8	9	2	0	0	22
	%	13.6	36.4	40.9	9.1	0.0	0.0	100.0
30 代	人	2	8	16	5	1	0	32
	%	6.3	25.0	50.0	15.6	3.1	0.0	100.0
40 代	人	6	9	23	7	0	0	45
	%	13.3	20.0	51.1	15.6	0.0	0.0	100.0
50 代	人	3	12	16	5	2	0	38
	%	7.9	31.6	42.1	13.2	5.3	0.0	100.0
60 代以上	人	9	23	74	30	7	1	144
	%	6.3	16.0	51.4	20.8	4.9	0.7	100.0

※□は最も高い数値、□は２番目に高いもの、□は３番目に高いもの

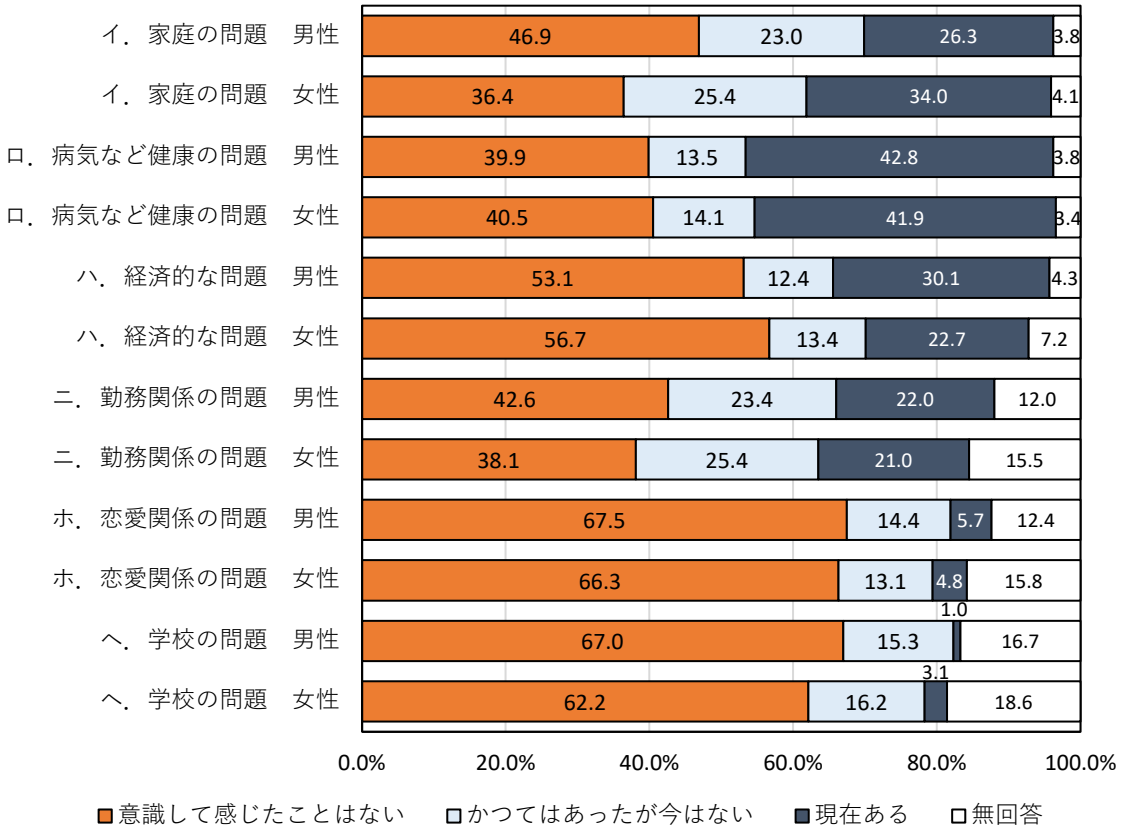
女性は“20 代”で「良い」「まあ良い」を合わせると 5 割を占め、それ以外では「普通」が最も高くなっている。

問４　あなたは日頃、次のそれぞれの問題に対して、悩みや苦悩、ストレス、不満を感じることがありますか。

設問		意識して感じたことはない	かつてはあったが今はない	現在ある	無回答	計
イ．家庭の問題（家族関係の不和、子育て、家族の介護・看病、きょうだいの世話　等）	人	208	123	156	22	509
	%	40.9	24.2	30.6	4.3	100.0
ロ．病気など健康の問題（自分の病気の悩み、身体の悩み、心の悩み　等）	人	202	69	215	22	508
	%	39.8	13.6	42.3	4.3	100.0
ハ．経済的な問題（倒産、事業不振、借金、失業、生活困窮　等）	人	280	65	131	33	509
	%	55.0	12.8	25.7	6.5	100.0
ニ．勤務関係の問題（転勤、仕事の不振、職場の人間関係、長時間労働　等）	人	201	124	110	74	509
	%	39.5	24.4	21.6	14.5	100.0
ホ．恋愛関係の問題（失恋、恋人や結婚も巡る悩み　等）	人	338	68	26	77	509
	%	66.4	13.4	5.1	15.1	100.0
ヘ．学校の問題（いじめ、学業不振、教師や友人との人間関係　等）	人	324	80	11	94	509
	%	63.7	15.7	2.2	18.5	100.0
ト．その他	人	181	11	23	293	508
	%	35.6	2.2	4.5	57.7	100.0

「現在ある」が最も高いのは“ロ．病気など健康の問題”（42.3%）、“イ．家庭の問題”（30.6%）、“ハ．経済的な問題”（25.7%）が高くなっています。

「意識して感じたことはない」が最も高いのは“ホ．恋愛関係の問題”（66.4%）、“ヘ．学校の問題”（63.7%）、“ハ．経済的な問題”（55.0%）が高くなっています。



“イ．家庭の問題”・“ヘ．学校も問題”は“女性”の方が「現在ある」が高いが、それ以外は“男性”の方が「現在ある」の割合は若干高くなっている。

イ．家庭の問題（家族関係の不和、子育て、家族の介護・看病、きょうだいの世話　等）

【男女別年齢別】

男性		意識して感じたことはない	かつてはあったが今はない	現在ある	無回答	計
15～19 歳	人	3	0	0	0	3
	%	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
20 代	人	9	1	3	0	13
	%	69.2	7.7	23.1	0.0	100.0
30 代	人	12	2	4	1	19
	%	63.2	10.5	21.1	5.3	100.0
40 代	人	8	1	9	0	18
	%	44.4	5.6	50.0	0.0	100.0
50 代	人	8	9	12	0	29
	%	27.6	31.0	41.4	0.0	100.0
60 代以上	人	58	35	27	7	127
	%	45.7	27.6	21.3	5.5	100.0

男性では、“30 代”以下と“60 代以上”で「意識して感じたことはない」が最も高いが、“40 代”・“50 代”では「現在ある」が最も高くなっている。

女性		意識して感じたことはない	かつてはあったが今はない	現在ある	無回答	計
15～19 歳	人	6	2	0	0	8
	%	75.0	25.0	0.0	0.0	100.0
20 代	人	12	3	7	0	22
	%	54.5	13.6	31.8	0.0	100.0
30 代	人	11	8	13	0	32
	%	34.4	25.0	40.6	0.0	100.0
40 代	人	17	7	21	0	45
	%	37.8	15.6	46.7	0.0	100.0
50 代	人	12	4	20	2	38
	%	31.6	10.5	52.6	5.3	100.0
60 代以上	人	47	50	38	10	145
	%	32.4	34.5	26.2	6.9	100.0

※□は最も高い数値、□は２番目に高いもの、□は３番目に高いもの

女性では“20 代”以下では「意識して感じたことはない」が最も高いが、“30 代”から“50 代”では「現在ある」が最も高い。“60 代以上”では「かつてあったが今はない」が最も高い。

【職業別】

		意識して感じたことはない	かつてはあったが今はない	現在ある	無回答	計
働いている	人	133	71	112	10	326
	%	40.8	21.8	34.4	3.1	100.0
専業主婦・主夫	人	16	19	18	0	53
	%	30.2	35.8	34.0	0.0	100.0
学生	人	14	3	0	0	17
	%	82.4	17.6	0.0	0.0	100.0
その他	人	0	2	1	1	4
	%	0.0	50.0	25.0	25.0	100.0
働いていない	人	41	25	23	5	94
	%	43.6	26.6	24.5	5.3	100.0

※働いている：職業のうち、会社・団体などの役員、勤めている（管理職）、勤めている（役員・管理職以外）、自営業（事業経営・個人商店・専業農家など）、派遣、パート・アルバイトのいずれかを選んだ方

働いていない：無職（求職中）、無職（仕事をしたいが、現在は求職していない）、無職（仕事をしたいと思っていない）のいずれかを選んだ方

※□は最も高い数値、□は２番目に高いもの、□は３番目に高いもの

“働いている”・“学生”・“働いていない”で「意識して感じたことはない」が最も高く、“専業主婦・主夫”では「かつてはあったが今はない」が最も高くなっている。

【家計の余裕別】

		意識して感じたことはない	かつてはあったが今はない	現在ある	無回答	計
余裕がない	人	79	54	96	14	243
	%	32.5	22.2	39.5	5.8	100.0
どちらともいえない	人	78	37	38	3	156
	%	50.0	23.7	24.4	1.9	100.0
余裕がある	人	46	28	17	2	93
	%	49.5	30.1	18.3	2.2	100.0

※余裕がない：家庭の家計の余裕について、「全く余裕がない」、「あまり余裕がない」のいずれかを選んだ方

余裕がある：家庭の家計の余裕について「ある程度余裕がある」、「かなり余裕がある」のいずれかを選んだ方

※□は最も高い数値、□は２番目に高いもの、□は３番目に高いもの

“余裕がない”では「現在ある」が最も高くが、“どちらともいえない”と“余裕がある”では「意識して感じたことはない」がおよそ半数を占めている。

ロ．病気など健康の問題（自分の病気の悩み、身体の悩み、心の悩み　等）

【男女別年齢別】

男性		意識して感じたことはない	かつてはあったが今はない	現在ある	無回答	計
15～19 歳	人	3	0	0	0	3
	%	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
20 代	人	6	1	6	0	13
	%	46.2	7.7	46.2	0.0	100.0
30 代	人	9	4	5	1	19
	%	47.4	21.1	26.3	5.3	100.0
40 代	人	11	1	6	0	18
	%	61.1	5.6	33.3	0.0	100.0
50 代	人	10	4	15	0	29
	%	34.5	13.8	51.7	0.0	100.0
60 代以上	人	44	18	57	7	126
	%	34.9	14.3	45.2	5.6	100.0

男性では、“20 代”では「意識して感じたことはない」と「現在ある」が同数で高くなっているが、それ以外の“40 代”以下では「意識して感じたことがない」が最も高い。“50 代”以上では「現在ある」が最も高い。

女性		意識して感じたことはない	かつてはあったが今はない	現在ある	無回答	計
15～19 歳	人	4	4	0	0	8
	%	50.0	50.0	0.0	0.0	100.0
20 代	人	14	4	4	0	22
	%	63.6	18.2	18.2	0.0	100.0
30 代	人	13	1	18	0	32
	%	40.6	3.1	56.3	0.0	100.0
40 代	人	19	10	16	0	45
	%	42.2	22.2	35.6	0.0	100.0
50 代	人	18	2	17	1	38
	%	47.4	5.3	44.7	2.6	100.0
60 代以上	人	49	20	67	9	145
	%	33.8	13.8	46.2	6.2	100.0

※□は最も高い数値、□は２番目に高いもの、□は３番目に高いもの

女性では“15～19 歳”では「意識して感じたことはない」と「かつてはあったが今はない」が同数となっている。

“20 代”と“30 代”・“40 代”では「意識して感じたことはない」が最も高いが、“30 代”と“60 代以上”では「現在ある」が最も高い。

【職業別】

		意識して感じたことはない	かつてはあったが今はない	現在ある	無回答	計
働いている	人	137	45	133	11	326
	%	42.0	13.8	40.8	3.4	100.0
専業主婦・主夫	人	20	9	22	2	53
	%	37.7	17.0	41.5	3.8	100.0
学生	人	11	4	2	0	17
	%	64.7	23.5	11.8	0.0	100.0
その他	人	0	0	2	1	3
	%	0.0	0.0	66.7	33.3	100.0
働いていない	人	31	9	52	2	94
	%	33.0	9.6	55.3	2.1	100.0

※□は最も高い数値、□は２番目に高いもの、□は３番目に高いもの

“働いている”と“学生”では「意識して感じたことはない」が最も高いが、それ以外では「現在ある」が最も高い。

【家計の余裕別】

		意識して感じたことはない	かつてはあったが今はない	現在ある	無回答	計
余裕がない	人	76	26	125	16	243
	%	31.3	10.7	51.4	6.6	100.0
どちらともいえない	人	65	28	61	1	155
	%	41.9	18.1	39.4	0.6	100.0
余裕がある	人	53	13	25	2	93
	%	57.0	14.0	26.9	2.2	100.0

※□は最も高い数値、□は２番目に高いもの、□は３番目に高いもの

“余裕がない”では「現在ある」が半数以上を占めているが、それ以外では「意識して感じたことはない」が最も高く、特に“余裕がある”では5割以上となっている。

ハ．経済的な問題（倒産、事業不振、借金、失業、生活困窮　等）

【男女別年齢別】

男性		意識して感じたことはない	かつてはあったが今はない	現在ある	無回答	計
15～19 歳	人	2	0	1	0	3
	%	66.7	0.0	33.3	0.0	100.0
20 代	人	7	1	5	0	13
	%	53.8	7.7	38.5	0.0	100.0
30 代	人	13	0	5	1	19
	%	68.4	0.0	26.3	5.3	100.0
40 代	人	10	3	5	0	18
	%	55.6	16.7	27.8	0.0	100.0
50 代	人	8	3	18	0	29
	%	27.6	10.3	62.1	0.0	100.0
60 代以上	人	71	19	29	8	127
	%	55.9	15.0	22.8	6.3	100.0

男性では、“50 代”で「現在ある」が半数以上を占めているが、それ以外では「意識して感じたことはない」が最も高い。

女性		意識して感じたことはない	かつてはあったが今はない	現在ある	無回答	計
15～19 歳	人	7	0	0	1	8
	%	87.5	0.0	0.0	12.5	100.0
20 代	人	14	1	7	0	22
	%	63.6	4.5	31.8	0.0	100.0
30 代	人	13	6	13	0	32
	%	40.6	18.8	40.6	0.0	100.0
40 代	人	24	8	12	1	45
	%	53.3	17.8	26.7	2.2	100.0
50 代	人	23	1	13	1	38
	%	60.5	2.6	34.2	2.6	100.0
60 代以上	人	83	23	21	18	145
	%	57.2	15.9	14.5	12.4	100.0

※□は最も高い数値、□は２番目に高いもの、□は３番目に高いもの

女性では、“30 代”で「意識して感じたことはない」と「現在ある」が同数となっているが、それ以外では「意識して感じたことはない」が最も高くなっている。

【職業別】

		意識して感じたことはない	かつてはあったが今はない	現在ある	無回答	計
働いている	人	174	35	102	15	326
	%	53.4	10.7	31.3	4.6	100.0
専業主婦・主夫	人	30	11	10	2	53
	%	56.6	20.8	18.9	3.8	100.0
学生	人	14	1	1	1	17
	%	82.4	5.9	5.9	5.9	100.0
その他	人	1	1	1	1	4
	%	25.0	25.0	25.0	25.0	100.0
働いていない	人	57	16	15	6	94
	%	60.6	17.0	16.0	6.4	100.0

※□は最も高い数値、□は２番目に高いもの、□は３番目に高いもの

“その他”以外で「意識して感じたことはない」が最も高くなっている。

【家計の余裕別】

		意識して感じたことはない	かつてはあったが今はない	現在ある	無回答	計
余裕がない	人	84	29	111	19	243
	%	34.6	11.9	45.7	7.8	100.0
どちらともいえない	人	111	24	15	6	156
	%	71.2	15.4	9.6	3.8	100.0
余裕がある	人	78	8	3	4	93
	%	83.9	8.6	3.2	4.3	100.0

※□は最も高い数値、□は２番目に高いもの、□は３番目に高いもの

“余裕がない”では「現在ある」が半数近くを占めているが、それ以外では「意識して感じたことはない」が７割以上を占めている。

ニ．勤務関係の問題（転勤、仕事の不振、職場の人間関係、長時間労働　等）

【男女別年齢別】

男性		意識して感じたことはない	かつてはあったが今はない	現在ある	無回答	計
15～19 歳	人	2	0	1	0	3
	%	66.7	0.0	33.3	0.0	100.0
20 代	人	8	3	2	0	13
	%	61.5	23.1	15.4	0.0	100.0
30 代	人	8	4	6	1	19
	%	42.1	21.1	31.6	5.3	100.0
40 代	人	10	1	7	0	18
	%	55.6	5.6	38.9	0.0	100.0
50 代	人	9	5	15	0	29
	%	31.0	17.2	51.7	0.0	100.0
60 代以上	人	52	36	15	24	127
	%	40.9	28.3	11.8	18.9	100.0

男性では“50 代”で「現在ある」が半数を占めているが、それ以外では「意識して感じたことはない」が最も高い。

女性		意識して感じたことはない	かつてはあったが今はない	現在ある	無回答	計
15～19 歳	人	8	0	0	0	8
	%	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
20 代	人	12	4	6	0	22
	%	54.5	18.2	27.3	0.0	100.0
30 代	人	8	11	13	0	32
	%	25.0	34.4	40.6	0.0	100.0
40 代	人	18	12	15	0	45
	%	40.0	26.7	33.3	0.0	100.0
50 代	人	7	14	16	1	38
	%	18.4	36.8	42.1	2.6	100.0
60 代以上	人	57	33	11	44	145
	%	39.3	22.8	7.6	30.3	100.0

※□は最も高い数値、□は２番目に高いもの、□は３番目に高いもの

女性では“30 代”と“50 代”で「現在ある」が最も高い。それ以外では「意識して感じたことはない」が最も高くなっている。

【職業別】

		意識して感じたことはない	かつてはあったが今はない	現在ある	無回答	計
働いている	人	120	77	107	22	326
	%	36.8	23.6	32.8	6.7	100.0
専業主婦・主夫	人	22	16	0	15	53
	%	41.5	30.2	0.0	28.3	100.0
学生	人	16	0	1	0	17
	%	94.1	0.0	5.9	0.0	100.0
その他	人	0	1	0	3	4
	%	0.0	25.0	0.0	75.0	100.0
働いていない	人	38	30	2	24	94
	%	40.4	31.9	2.1	25.5	100.0

※□は最も高い数値、□は２番目に高いもの、□は３番目に高いもの

“その他”以外で「意識して感じたことはない」が最も高くなっている。

【家計の余裕別】

		意識して感じたことはない	かつてはあったが今はない	現在ある	無回答	計
余裕がない	人	74	69	64	36	243
	%	30.5	28.4	26.3	14.8	100.0
どちらともいえない	人	78	32	33	13	156
	%	50.0	20.5	21.2	8.3	100.0
余裕がある	人	44	18	11	20	93
	%	47.3	19.4	11.8	21.5	100.0

※□は最も高い数値、□は２番目に高いもの、□は３番目に高いもの

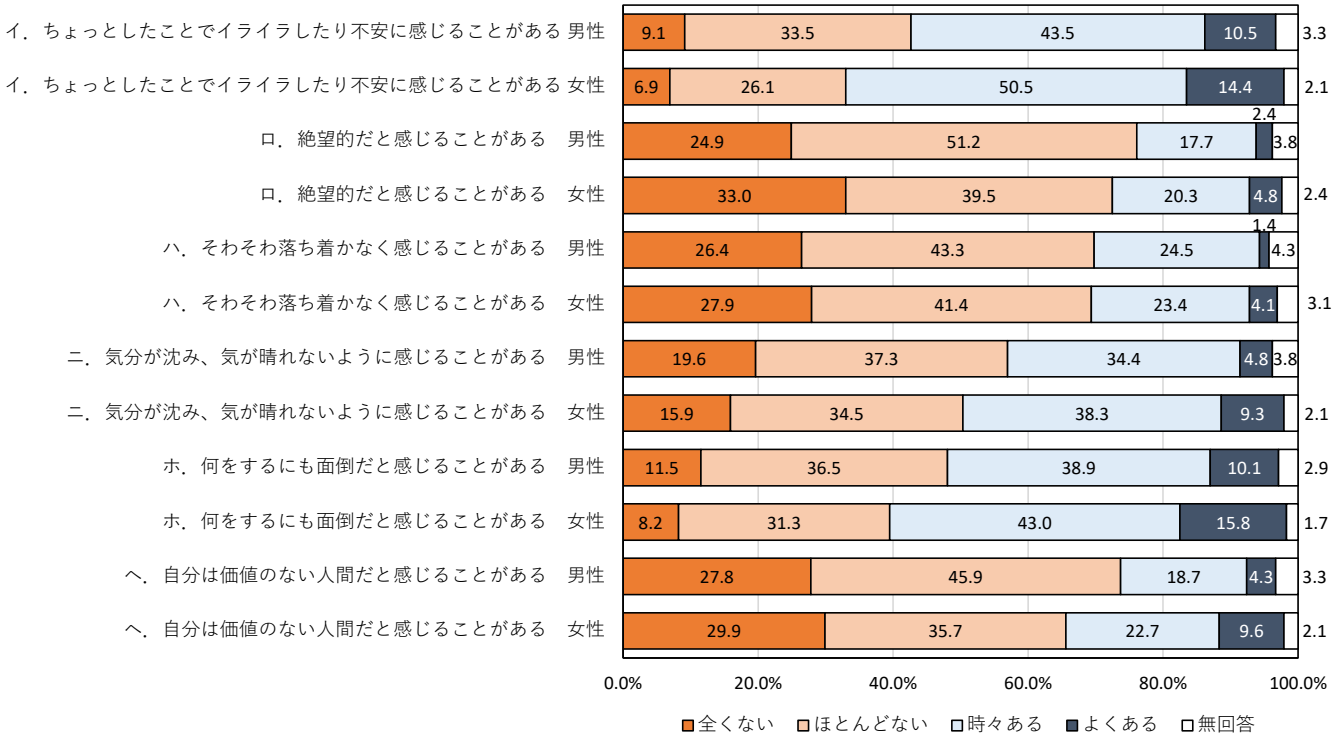
全てで「意識して感じたことはない」が最も高くなっている。

問５　あなたは日頃、次のそれぞれの問題に対して、悩みや苦労、ストレス、不満を感じることがありますか。（それぞれに〇は１つ）

設問		全くない	ほとんどない	時々ある	よくある	無回答	計
イ．ちょっとしたことでイライラしたり不安に感じることがある	人	39	149	241	66	14	509
	%	7.7	29.3	47.3	13.0	2.8	100.0
ロ．絶望的だと感じることがある	人	148	225	99	21	16	509
	%	29.1	44.2	19.4	4.1	3.1	100.0
ハ．そわそわ落ち着かなく感じることがある	人	136	213	121	18	19	507
	%	26.8	42.0	23.9	3.6	3.7	100.0
ニ．気分が沈み、気が晴れないように感じることがある	人	87	180	187	39	15	508
	%	17.1	35.4	36.8	7.7	3.0	100.0
ホ．何をするにも面倒だと感じることがある	人	48	169	209	70	12	508
	%	9.4	33.3	41.1	13.8	2.4	100.0
ヘ．自分は価値のない人間だと感じることがある	人	145	203	107	40	14	509
	%	28.5	39.9	21.0	7.9	2.8	100.0

「時々ある」「よくある」を合わせた「ある」の割合が高いのは、“ちょっとしたことでイライラしたり不安に感じることがある”（60.3%）、“何をするにも面倒だと感じることがある”（54.9%）、“気分が沈み、気が晴れないように感じることがある”（44.5%）が高くなっています。

「全くない」「ほとんどない」を合わせた「ない」の割合が高いのは、“絶望的だと感じることがある”（73.3%）、“そわそわ落ち着かなく感じることがある”（68.8%）、“自分は価値のない人間だと感じることがある”（68.4%）の順で高くなっています。



各設問で「時々ある」「よくある」を合わせると“男性”より“女性”の方が、割合が高くなっている。

「時々ある」「よくある」を合わせた割合が最も高いのは“イ．ちょっとしたことでイライラしたり不安に感じることがある 女性”（64.9%）、次いで“ホ．何をするにも面倒だと感じることがある　女性”（58.8%）、“イ．ちょっとしたことでイライラしたり不安に感じることがある 男性”（54.0%）の順で高くなっている。

「時々ある」「よくある」を合わせた割合が最も高いのは男女とも“イ．ちょっとしたことでイライラしたり不安に感じることがある”、次いで“ホ．何をするにも面倒だと感じることがある”、“ニ．気分が沈み、気が晴れないように感じることがある”の順で高くなっている。

イ．ちょっとしたことでイライラしたり不安に感じることがある

【男女別年齢別】

男性		全くない	ほとんどない	時々ある	よくある	無回答	計
15～19 歳	人	1	2	0	0	0	3
	%	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	100.0
20 代	人	2	5	4	2	0	13
	%	15.4	38.5	30.8	15.4	0.0	100.0
30 代	人	5	5	5	3	1	19
	%	26.3	26.3	26.3	15.8	5.3	100.0
40 代	人	1	8	8	1	0	18
	%	5.6	44.4	44.4	5.6	0.0	100.0
50 代	人	3	7	12	7	0	29
	%	10.3	24.1	41.4	24.1	0.0	100.0
60 代以上	人	7	43	62	9	6	127
	%	5.5	33.9	48.8	7.1	4.7	100.0

「時々ある」「よくある」を合わせた割合が最も高いのは“50 代”（65.5%）、次いで“60 代以上”（55.9%）、“40 代”（50.0%）の順で高くなっている。“40 代”以上で高くなっている。

女性		全くない	ほとんどない	時々ある	よくある	無回答	計
15～19 歳	人	0	3	5	0	0	8
	%	0.0	37.5	62.5	0.0	0.0	100.0
20 代	人	2	5	11	4	0	22
	%	9.1	22.7	50.0	18.2	0.0	100.0
30 代	人	0	8	14	10	0	32
	%	0.0	25.0	43.8	31.3	0.0	100.0
40 代	人	3	12	22	8	0	45
	%	6.7	26.7	48.9	17.8	0.0	100.0
50 代	人	1	6	21	10	0	38
	%	2.6	15.8	55.3	26.3	0.0	100.0
60 代以上	人	14	41	74	10	6	145
	%	9.7	28.3	51.0	6.9	4.1	100.0

※□は最も高い数値、□は２番目に高いもの、□は３番目に高いもの

「時々ある」「よくある」を合わせると、各年代で 5 割以上を占めている。「時々ある」「よくある」を合わせた割合が最も高いのは“50 代”（81.6%）、次いで“30 代”（75.1%）、“20 代”（68.2%）の順で高くなっている。

【職業別】

		全くない	ほとんどない	時々ある	よくある	無回答	計
働いている	人	21	94	151	53	7	326
	%	6.4	28.8	46.3	16.3	2.1	100.0
専業主婦・主夫	人	2	19	27	5	0	53
	%	3.8	35.8	50.9	9.4	0.0	100.0
学生	人	2	6	9	0	0	17
	%	11.8	35.3	52.9	0.0	0.0	100.0
その他	人	0	0	2	1	1	4
	%	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0	100.0
働いていない	人	10	29	45	7	3	94
	%	10.6	30.9	47.9	7.4	3.2	100.0

※□は最も高い数値、□は２番目に高いもの、□は３番目に高いもの

各職業で「時々ある」「よくある」を合わせると５割以上を占めている。

「時々ある」「よくある」を合わせると、“その他”以外で最も高いのは“働いている”（62.6%）、次いで“専業主婦・主夫”（60.3%）、“働いていない”（55.3%）の順で高くなっている。

【家計の余裕別】

		全くない	ほとんどない	時々ある	よくある	無回答	計
余裕がない	人	16	51	119	48	9	243
	%	6.6	21.0	49.0	19.8	3.7	100.0
どちらともいえない	人	7	57	79	12	1	156
	%	4.5	36.5	50.6	7.7	0.6	100.0
余裕がある	人	16	35	38	4	0	93
	%	17.2	37.6	40.9	4.3	0.0	100.0

※□は最も高い数値、□は２番目に高いもの、□は３番目に高いもの

“余裕がない”・“どちらともいえない”で「時々ある」と「よくある」を合わせると５割以上を占めている。

“余裕がある”では「全くない」「ほとんどない」を合わせると５割以上を占めている。

ニ．気分が沈み、気が晴れないように感じることがある

【男女別年齢別】

男性		全くない	ほとんどない	時々ある	よくある	無回答	計
15～19 歳	人	1	1	1	0	0	3
	%	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	100.0
20 代	人	7	0	4	2	0	13
	%	53.8	0.0	30.8	15.4	0.0	100.0
30 代	人	6	4	7	1	1	19
	%	31.6	21.1	36.8	5.3	5.3	100.0
40 代	人	5	6	6	1	0	18
	%	27.8	33.3	33.3	5.6	0.0	100.0
50 代	人	5	7	15	2	0	29
	%	17.2	24.1	51.7	6.9	0.0	100.0
60 代以上	人	17	60	39	4	7	127
	%	13.4	47.2	30.7	3.1	5.5	100.0

男性では“50 代”以外で「全くない」「ほとんどない」を合わせると 5 割以上を占めている。“50 代”では「時々ある」「よくある」を合わせるとおよそ 6 割を占めている。

女性		全くない	ほとんどない	時々ある	よくある	無回答	計
15～19 歳	人	0	0	7	1	0	8
	%	0.0	0.0	87.5	12.5	0.0	100.0
20 代	人	4	9	4	5	0	22
	%	18.2	40.9	18.2	22.7	0.0	100.0
30 代	人	5	7	14	6	0	32
	%	15.6	21.9	43.8	18.8	0.0	100.0
40 代	人	10	14	20	1	0	45
	%	22.2	31.1	44.4	2.2	0.0	100.0
50 代	人	5	14	11	8	0	38
	%	13.2	36.8	28.9	21.1	0.0	100.0
60 代以上	人	22	55	55	6	6	144
	%	15.3	38.2	38.2	4.2	4.2	100.0

※□は最も高い数値、□は２番目に高いもの、□は３番目に高いもの

女性では、「時々ある」「よくある」を合わせると 5 割を超えているのは、“10 代”、“30 代”、“50 代”である。

「全くない」「ほとんどない」を合わせると、“20 代”、“40 代”以上で 5 割以上となっている。

【職業別】

		全くない	ほとんどない	時々ある	よくある	無回答	計
働いている	人	57	111	120	28	9	325
	%	17.5	34.2	36.9	8.6	2.8	100.0
専業主婦・主夫	人	5	25	20	3	0	53
	%	9.4	47.2	37.7	5.7	0.0	100.0
学生	人	3	1	12	1	0	17
	%	17.6	5.9	70.6	5.9	0.0	100.0
その他	人	0	0	3	0	1	4
	%	0.0	0.0	75.0	0.0	25.0	100.0
働いていない	人	18	42	25	7	2	94
	%	19.1	44.7	26.6	7.4	2.1	100.0

※□は最も高い数値、□は２番目に高いもの、□は３番目に高いもの

“働いている”と“学生”で「時々ある」が最も高くなっている。

“学生”は「時々ある」「よくある」を合わせると 76.5%を占めている。

“働いている”“専業主婦・主夫”“働いていない”は「全くない」「ほとんどない」を合わせると 5 割以上を占めている。

【家計の余裕別】

		全くない	ほとんどない	時々ある	よくある	無回答	計
余裕がない	人	37	66	106	25	9	243
	%	15.2	27.2	43.6	10.3	3.7	100.0
どちらともいえない	人	28	63	51	10	3	155
	%	18.1	40.6	32.9	6.5	1.9	100.0
余裕がある	人	22	42	25	4	0	93
	%	23.7	45.2	26.9	4.3	0.0	100.0

※□は最も高い数値、□は２番目に高いもの、□は３番目に高いもの

“余裕がない”では「時々ある」が最も高く、それ以外では「ほとんどない」が最も高い。

“どとらともいえない”“余裕がある”では「全くない」「ほとんどない」を合わせると 5 割以上となり、“余裕がない”では「時々ある」「よくある」を合わせると 53.9%となっている。

ホ．何をするにも面倒だと感じることがある

【男女別年齢別】

男性		全くない	ほとんどない	時々ある	よくある	無回答	計
15～19 歳	人	1	2	0	0	0	3
	%	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	100.0
20 代	人	4	1	4	4	0	13
	%	30.8	7.7	30.8	30.8	0.0	100.0
30 代	人	4	6	7	1	1	19
	%	21.1	31.6	36.8	5.3	5.3	100.0
40 代	人	3	5	7	3	0	18
	%	16.7	27.8	38.9	16.7	0.0	100.0
50 代	人	4	9	13	3	0	29
	%	13.8	31.0	44.8	10.3	0.0	100.0
60 代以上	人	8	53	50	10	5	126
	%	6.3	42.1	39.7	7.9	4.0	100.0

男性では、“20 代”から“50 代”で「時々ある」が最も高くなっている。

“20 代”“40 代”“50 代”では「時々ある」「よくある」を合わせると 5 割以上となっているが、“30 代”では「全くない」「ほとんどない」を合わせると 52.7%となっている。

女性		全くない	ほとんどない	時々ある	よくある	無回答	計
15～19 歳	人	0	0	6	2	0	8
	%	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	100.0
20 代	人	2	5	9	6	0	22
	%	9.1	22.7	40.9	27.3	0.0	100.0
30 代	人	1	8	14	9	0	32
	%	3.1	25.0	43.8	28.1	0.0	100.0
40 代	人	4	16	16	9	0	45
	%	8.9	35.6	35.6	20.0	0.0	100.0
50 代	人	3	8	20	7	0	38
	%	7.9	21.1	52.6	18.4	0.0	100.0
60 代以上	人	14	54	59	13	5	145
	%	9.7	37.2	40.7	9.0	3.4	100.0

※□は最も高い数値、□は２番目に高いもの、□は３番目に高いもの

女性では“60 代以上”以外では「時々ある」「よくある」を合わせると 5 割以上を占め、“60 代以上”でも 49.7%を占めている。

「全くない」「ほとんどない」が高いのは“60 代以上”（46.9%）、“40 代”（44.5%）で 5 割近くとなっている。

【職業別】

		全くない	ほとんどない	時々ある	よくある	無回答	計
働いている	人	31	103	136	50	6	326
	%	9.5	31.6	41.7	15.3	1.8	100.0
専業主婦・主夫	人	2	24	24	3	0	53
	%	3.8	45.3	45.3	5.7	0.0	100.0
学生	人	2	2	11	2	0	17
	%	11.8	11.8	64.7	11.8	0.0	100.0
その他	人	0	0	2	1	1	4
	%	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0	100.0
働いていない	人	11	34	33	13	2	93
	%	11.8	36.6	35.5	14.0	2.2	100.0

※□は最も高い数値、□は２番目に高いもの、□は３番目に高いもの

“働いていない”以外では「時々ある」「よくある」を合わせると５割以上を占め、“働いていない”でも 49.5%を占めている。

「全くない」「ほとんどない」を合わせると“専業主婦・主夫”、“働いていない”で５割近くの割合を占めている。

【家計の余裕別】

		全くない	ほとんどない	時々ある	よくある	無回答	計
余裕がない	人	16	66	104	49	7	242
	%	6.6	27.3	43.0	20.2	2.9	100.0
どちらともいえない	人	14	58	67	15	2	156
	%	9.0	37.2	42.9	9.6	1.3	100.0
余裕がある	人	17	40	32	4	0	93
	%	18.3	43.0	34.4	4.3	0.0	100.0

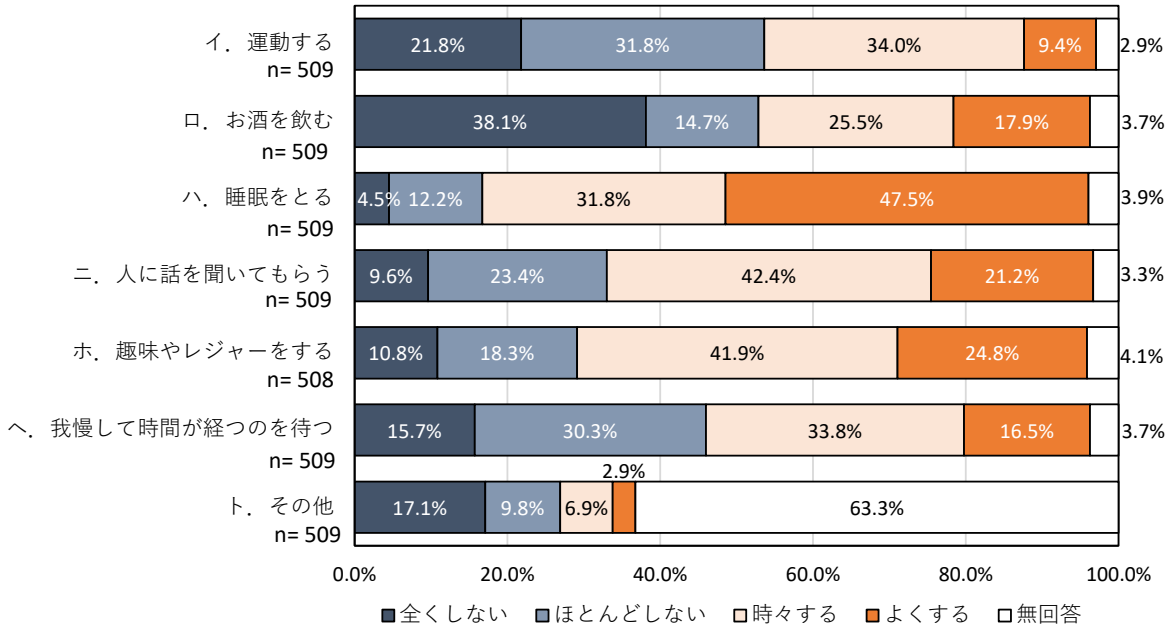
※□は最も高い数値、□は２番目に高いもの、□は３番目に高いもの

“余裕がない”“どちらともいえない”は「時々ある」が最も高く、“余裕がある”は「ほどんどない」が最も高くなっている。

“余裕がない”“どちらともいえない”は「時々ある」「よくある」を合わせると５割以上を占めている。

“余裕がある”は「全くない」「ほとんどない」を合わせると 61.3%となっている。

問６　あなたは日常生活の不満、悩み、苦労、ストレスを解消するために、次のことをどのくらいしますか。（それぞれに○は１つ）



設問		全くしない	ほとんどしない	時々する	よくする	無回答	計
イ．運動する	人	111	162	173	48	15	509
	%	21.8	31.8	34.0	9.4	2.9	100.0
ロ．お酒を飲む	人	194	75	130	91	19	509
	%	38.1	14.7	25.5	17.9	3.7	100.0
ハ．睡眠をとる	人	23	62	162	242	20	509
	%	4.5	12.2	31.8	47.5	3.9	100.0
ニ．人に話を聞いてもらう	人	49	119	216	108	17	509
	%	9.6	23.4	42.4	21.2	3.3	100.0
ホ．趣味やレジャーをする	人	55	93	213	126	21	508
	%	10.8	18.3	41.9	24.8	4.1	100.0
ヘ．我慢して時間が経つのを待つ	人	80	154	172	84	19	509
	%	15.7	30.3	33.8	16.5	3.7	100.0
ト．その他	人	87	50	35	15	322	509
	%	17.1	9.8	6.9	2.9	63.3	100.0

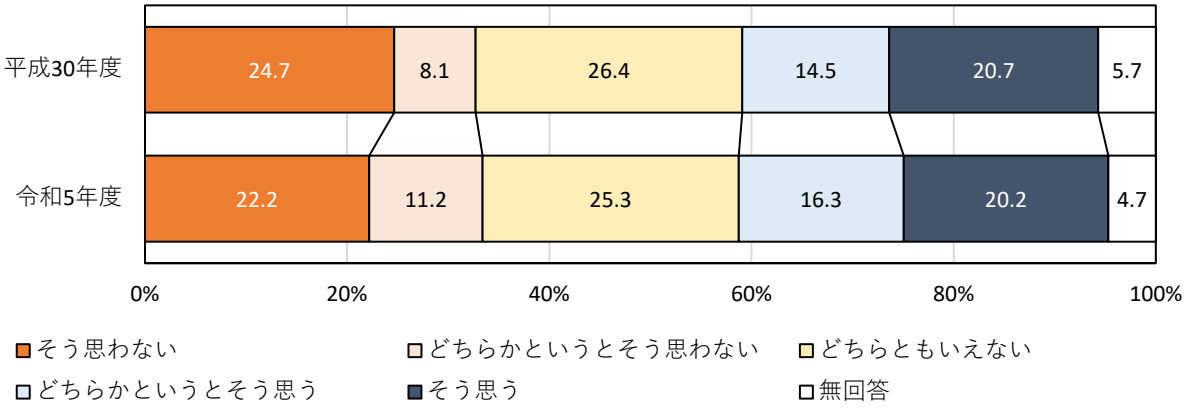
「全くしない」と「ほとんどしない」を合わせた「しない」が最も高いのは、“運動する”（53.6%）、次いで“お酒を飲む”（52.8%）、“我慢して時間が経つのを待つ”（46.0%）の順で高くなっています。

「時々する」と「よくする」を合わせた「する」が最も高いのは、“睡眠をとる”（79.4%）、“趣味やレジャーをする”（66.7%）、“人に話を聞いてもらう”（63.7%）の順で高くなっています。

（３）自殺に関する考え方についておたずねします

問７　あなたは「自殺」についてどのように思いますか。（それぞれに〇は１つ）

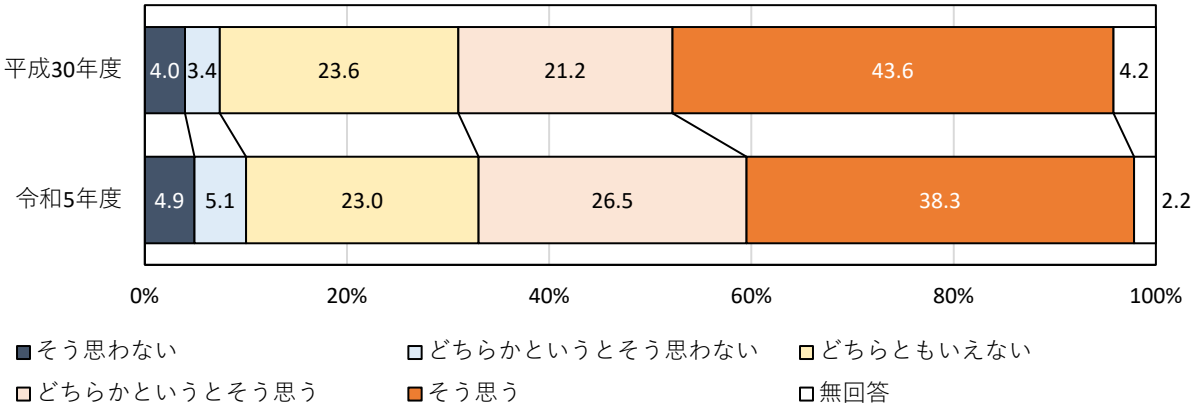
イ．生死は最終的に本人の判断に任せるべき



令和５年度では「そう思わない」「どちらかというとそう思わない」を合わせると 33.4%、「どちらかというとそう思う」「そう思う」を合わせると 36.5%となっており、「どちらかというとそう思う」「そう思う」の方が 3.1 ポイント高くなっている。

「そう思わない」「どちらかというとそう思わない」を合わせると、平成 30 年度に比べ、令和５年度では 0.7 ポイント増加し、「どちらかというとそう思う」「そう思う」では 1.3 ポイント増加している。

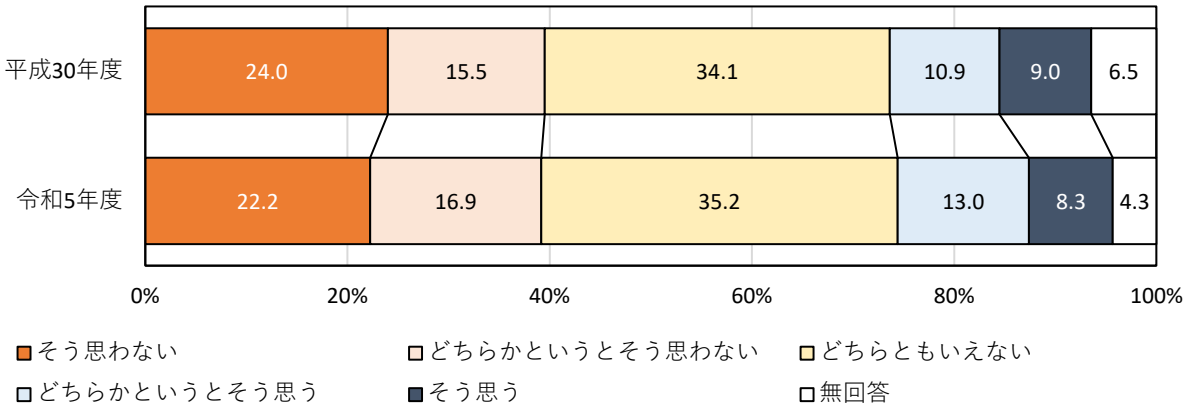
ロ．自殺せずに生きていれば良いことがある



令和５年度では「そう思わない」「どちらかというとそう思わない」を合わせると 10.0%、「どちらかというとそう思う」「そう思う」を合わせると 64.8%と半数以上を占めている。

「そう思わない」「どちらかというとそう思わない」を合わせると、平成 30 年度に比べ、令和５年度では 2.6 ポイント増加し、「どちらかというとそう思う」「そう思う」では変化が見られなかった。

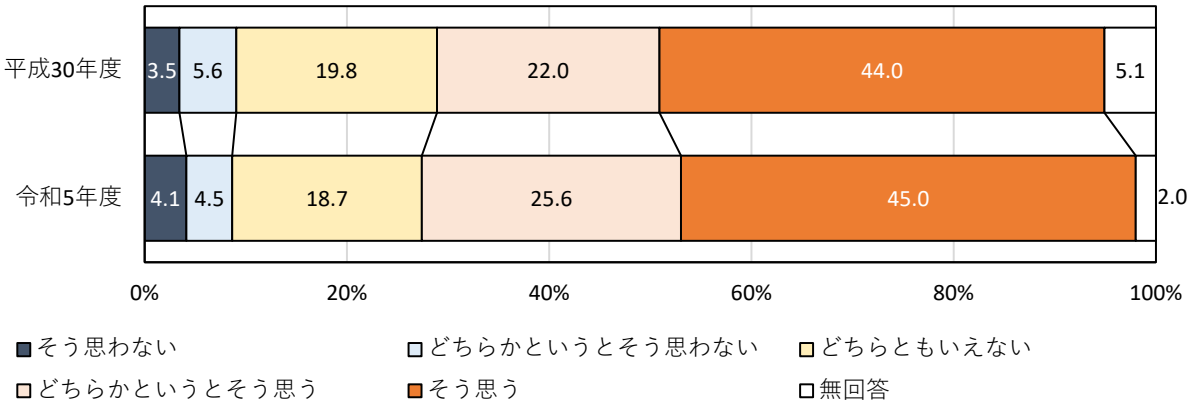
ハ．自殺したいと思う人は、自殺を繰り返すので、周囲の人が止めることはできない



令和 5 年度では「そう思わない」「どちらかというとそう思わない」を合わせると 39.2%、「どちらかというとそう思う」「そう思う」を合わせると 21.3%となっており、「そう思わない」「どちらかというとそう思わない」の方が 17.9 ポイント高くなっている。

「そう思わない」「どちらかというとそう思わない」を合わせると、平成 30 年度に比べ、令和 5 年度では 0.3 ポイント減少し、「どちらかというとそう思う」「そう思う」では 1.3 ポイント増加している。

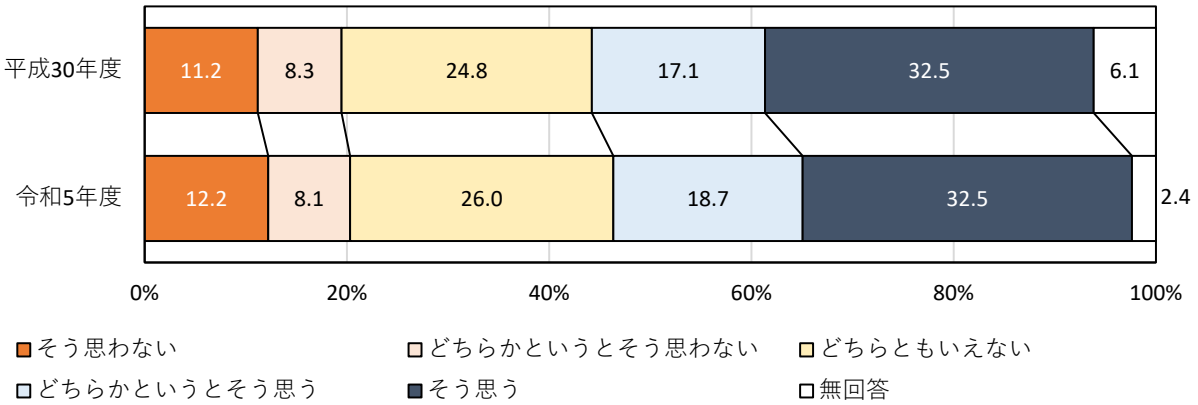
ニ．自殺する人は、よほど辛いことがあったのだと思う



令和 5 年度では「そう思わない」「どちらかというとそう思わない」を合わせると 8.7%、「どちらかというとそう思う」「そう思う」を合わせると 70.6%と 7 割以上を占めている。

「そう思わない」「どちらかというとそう思わない」を合わせると、平成 30 年度に比べ、令和 5 年度では 0.4 ポイント減少し、「どちらかというとそう思う」「そう思う」では 4.6 ポイント増加している。

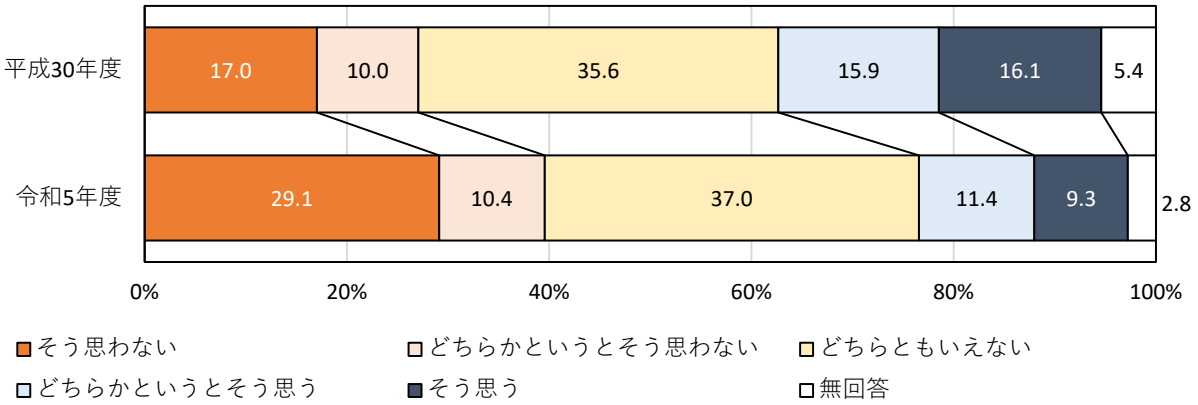
ホ．自殺は自分にはあまり関係ない



令和 5 年度では「そう思わない」「どちらかというとそう思わない」を合わせると 20.3%、「どちらかというとそう思う」「そう思う」を合わせると 51.3%と半数以上を占めている。

「そう思わない」「どちらかというとそう思わない」を合わせると、平成 30 年度に比べ、令和 5 年度では 0.8 ポイント増加し、「どちらかというとそう思う」「そう思う」では 1.7 ポイント増加している。

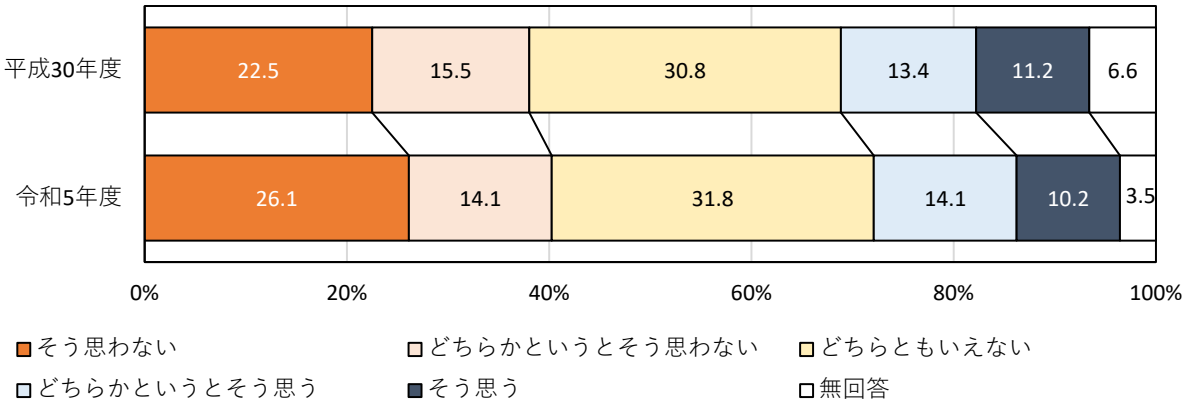
ヘ．自殺は本人の弱さから起こる



令和 5 年度では「そう思わない」「どちらかというとそう思わない」を合わせると 39.6%、「どちらかというとそう思う」「そう思う」を合わせると 20.7%となっており、「そう思わない」「どちらかというとそう思わない」の方が 18.9 ポイント高くなっている。

「そう思わない」「どちらかというとそう思わない」を合わせると、平成 30 年度に比べ、令和 5 年度では 12.5 ポイント増加し、「どちらかというとそう思う」「そう思う」では 11.3 ポイント減少している。

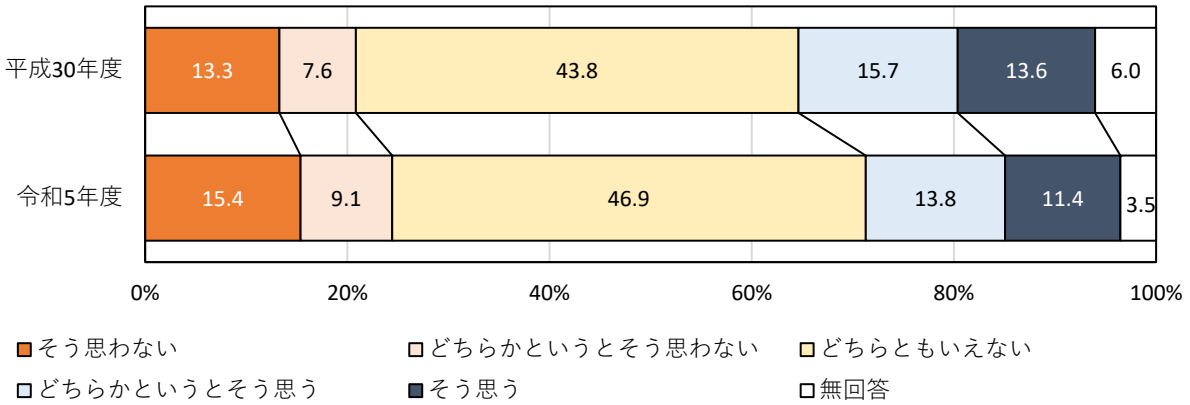
ト．自殺は本人が選んだことだから仕方がない



令和 5 年度では「そう思わない」「どちらかというとそう思わない」を合わせると 40.3%、「どちらかというとそう思う」「そう思う」を合わせると 24.4%となっており、「そう思わない」「どちらかというとそう思わない」の方が 15.9 ポイント高くなっている。

「そう思わない」「どちらかというとそう思わない」を合わせると、平成 30 年度に比べ、令和 5 年度では 2.2 ポイント増加し、「どちらかというとそう思う」「そう思う」では 0.2 ポイント減少している。

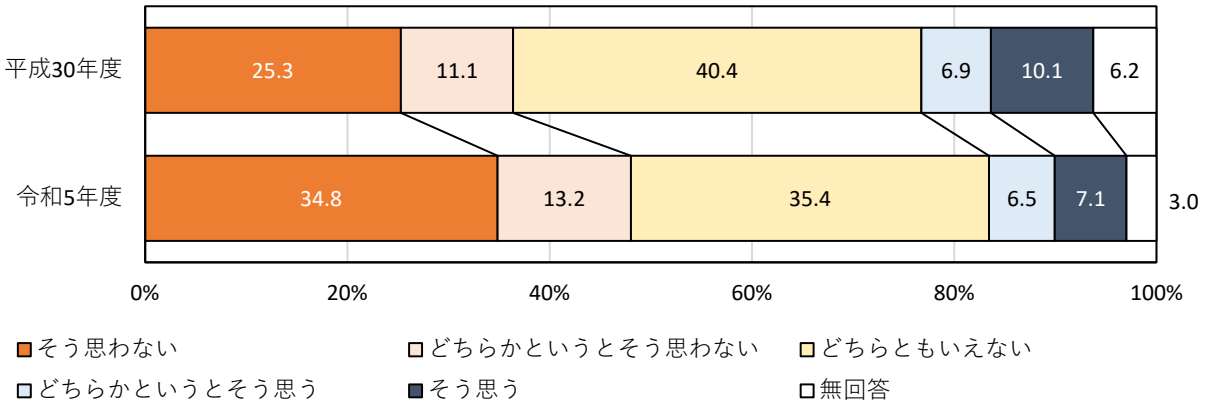
チ．自殺を口にする人は、本当に自殺しない



令和 5 年度では「そう思わない」「どちらかというとそう思わない」を合わせると 24.4%、「どちらかというとそう思う」「そう思う」を合わせると 25.2%となっており、「どちらかというとそう思う」「そう思う」の方が 0.8 ポイント高くなっている。

「そう思わない」「どちらかというとそう思わない」を合わせると、平成 30 年度に比べ、令和 5 年度では 3.6 ポイント増加し、「どちらかというとそう思う」「そう思う」では 4.1 ポイント減少している。

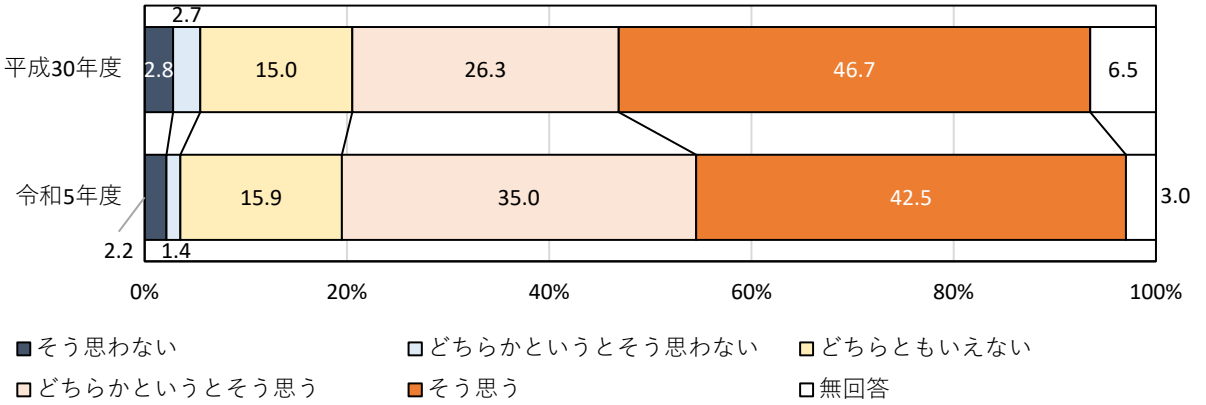
リ．自殺は恥ずかしいことである



令和 5 年度では「そう思わない」「どちらかというとそう思わない」を合わせると 48.0%とおよそ半数を占め、「どちらかというとそう思う」「そう思う」を合わせると 13.6%となり、「そう思わない」「どちらかというとそう思わない」の方が 34.4 ポイント高くなっている。

「そう思わない」「どちらかというとそう思わない」を合わせると、平成 30 年度に比べ、令和 5 年度では 11.6 ポイント増加し、「どちらかというとそう思う」「そう思う」では 3.4 ポイント減少している。

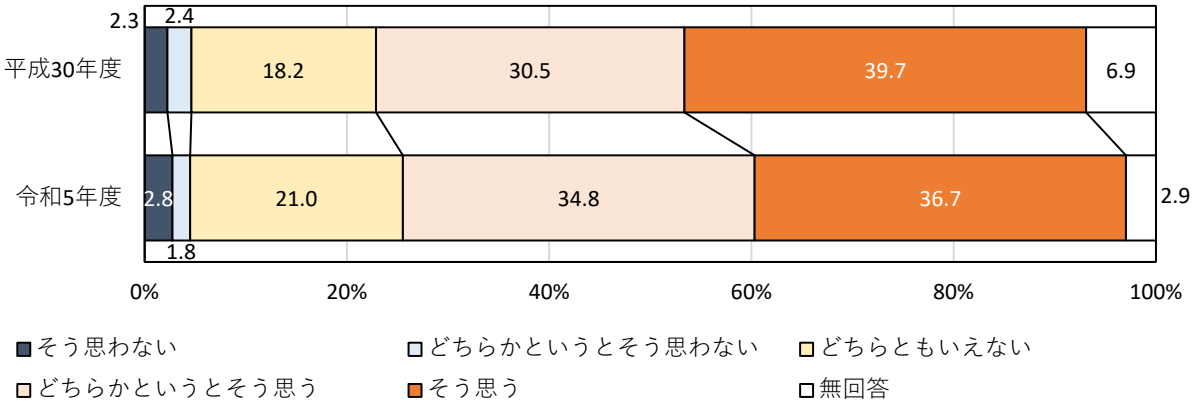
ヌ．防ぐことができる自殺も多い



令和 5 年度では「そう思わない」「どちらかというとそう思わない」を合わせると 3.5%、「どちらかというとそう思う」「そう思う」を合わせると 77.6%と 7 割以上を占めている。

「そう思わない」「どちらかというとそう思わない」を合わせると、平成 30 年度に比べ、令和 5 年度では 2.0 ポイント減少し、「どちらかというとそう思う」「そう思う」では 4.6 ポイント増加している。

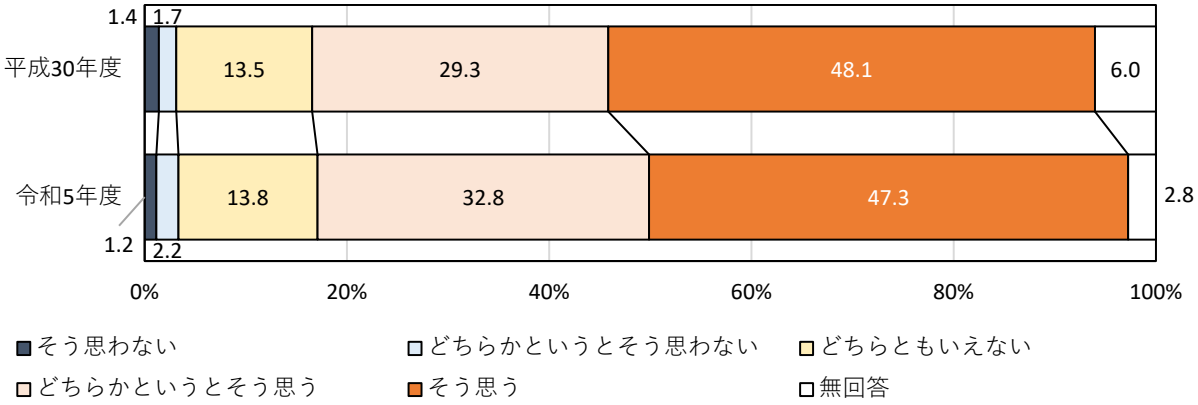
ル．自殺しようとする人の多くは、何らかのサインを発している



令和 5 年度では「そう思わない」「どちらかというとそう思わない」を合わせると 4.5%、「どちらかというとそう思う」「そう思う」を合わせると 71.5%と 7 割以上を占めている。

「そう思わない」「どちらかというとそう思わない」を合わせると、平成 30 年度に比べ、令和 5 年度では 0.1 ポイント減少し、「どちらかというとそう思う」「そう思う」では 1.3 ポイント増加している。

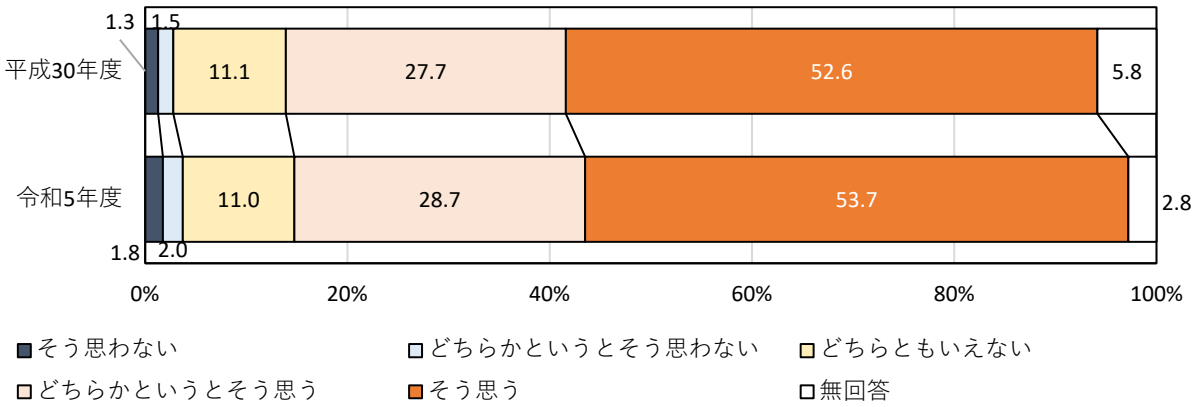
ヲ．自殺を考える人は、様々な問題を抱えていることが多い



令和 5 年度では「そう思わない」「どちらかというとそう思わない」を合わせると 3.3%、「どちらかというとそう思う」「そう思う」を合わせると 80.2%と 8 割以上を占めている。

「そう思わない」「どちらかというとそう思わない」を合わせると、平成 30 年度に比べ、令和 5 年度では 0.2 ポイント増加し、「どちらかというとそう思う」「そう思う」では 2.8 ポイント増加している。

ワ．自殺を考える人の多くは、精神的に追い詰められて他の方法を思いつかなくなっている



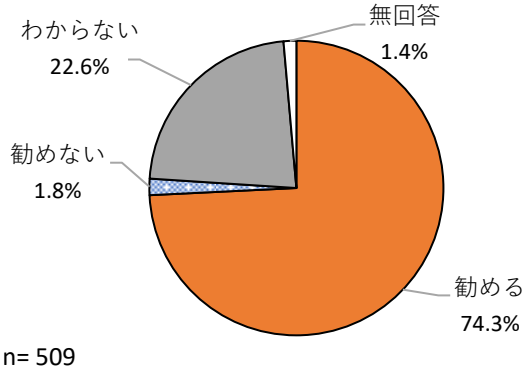
令和 5 年度では「そう思わない」「どちらかというとそう思わない」を合わせると 3.7%、「どちらかというとそう思う」「そう思う」を合わせると 82.5%と 8 割以上を占めている。

「そう思わない」「どちらかというとそう思わない」を合わせると、平成 30 年度に比べ、令和 5 年度では 0.9 ポイント増加し、「どちらかというとそう思う」「そう思う」では 2.2 ポイント増加している。

問８　もし仮に、あなたが、家族など身近な人の「うつ病のサイン」に気づいたとき、医療機関などの専門の相談窓口へ相談することを勧めますか。以下の中であなたのお考えに最も近いもの１つだけに〇をつけてください。（〇は１つ）

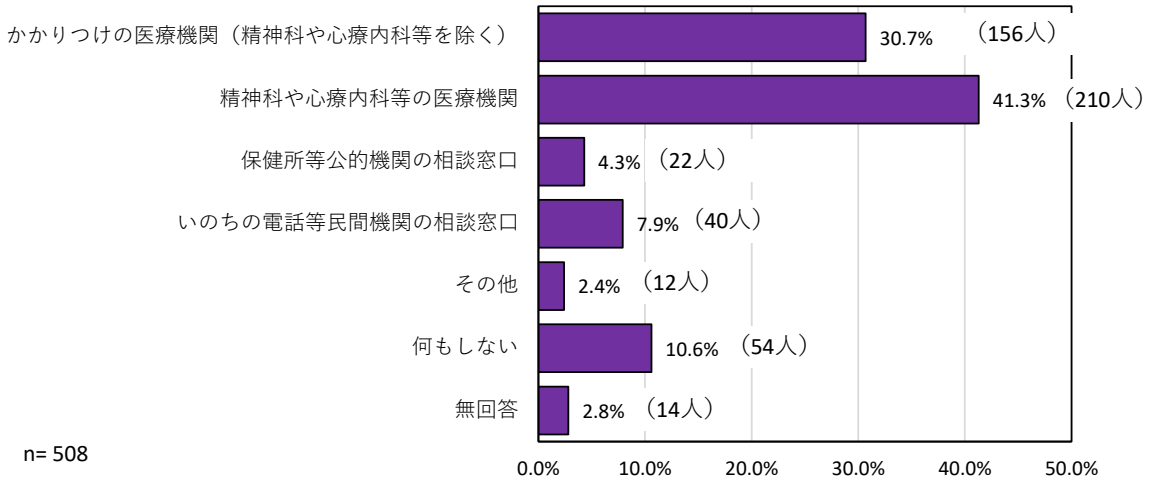
選択肢	回答数(人)	比率(%)
1　勧める	378	74.3
2　勧めない	9	1.8
3　わからない	115	22.6
無回答	7	1.4

有効票数 ＝ 509



医療機関などの専門の相談窓口に相談を「勧める」378 人（74.3%）、「わからない」115 人（22.6%）、「勧めない」9 人（1.8%）の割合で多くなっています。

問９　もし仮に、あなたが自分自身の「うつ病のサイン」に気づいたら、以下の専門の相談窓口のうち、どれを利用したいと思いますか。以下の中であなたのお考えに最も近いもの１つだけに〇をつけてください。



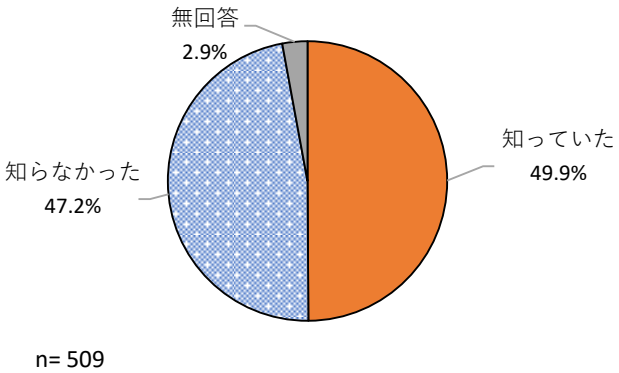
利用したいと思う相談窓口は、「精神科や心療内科等の医療機関」が最も多く 210 人（41.3%）、次いで「かかりつけの医療機関（精神科や心療内科を除く）」156 人（30.7%）、「何もしない」54 人（10.6%）の順で多くなっています。

（４）自殺対策についておたずねします

問 10　警察庁の自殺統計によると我が国の自殺者数は長らく 3 万人台を推移していましたが、令和 3 年 2 万 1,007 人まで減少しました。しかし、令和 4 年以降再び増加に転じ 2 万 1,881 人の方が亡くなっています。あなたは、毎年、このように多くの方が自殺で亡くなっていることを知っていましたか。あてはまるものに〇をつけてください。（〇は１つだけ）

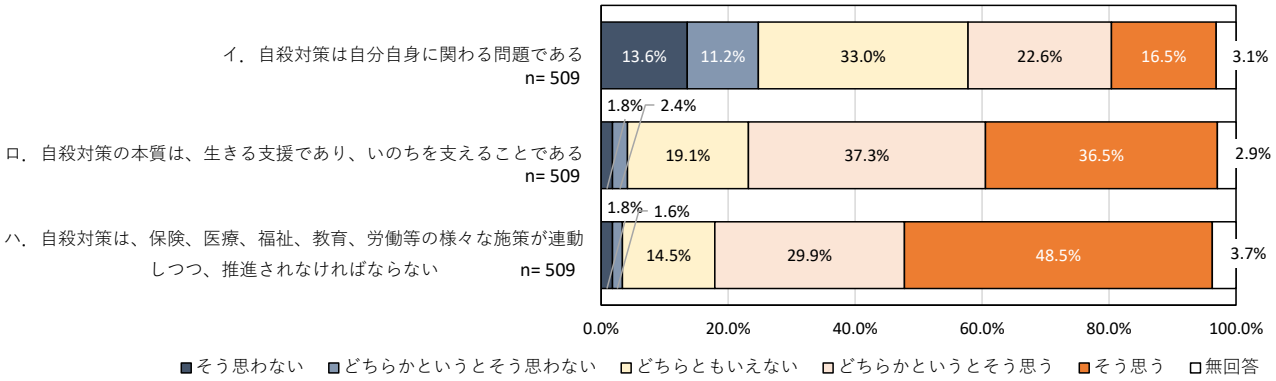
選択肢	回答数(人)	比率(%)
1　知っていた	254	49.9
2　知らなかった	240	47.2
無回答	15	2.9

有効票数 = 509



「知っていた」254 人（49.9%）、「知らなかった」240 人（47.2%）となっており、「知っていた」と「知らなかった」に大きな差はありませんでした。

問 11　あなたは、自殺対策に関する以下のような考え方について、どのように思いますか。あなたのお考えに最も近いもの１つだけに〇をつけてください。（それぞれに〇は１つ）



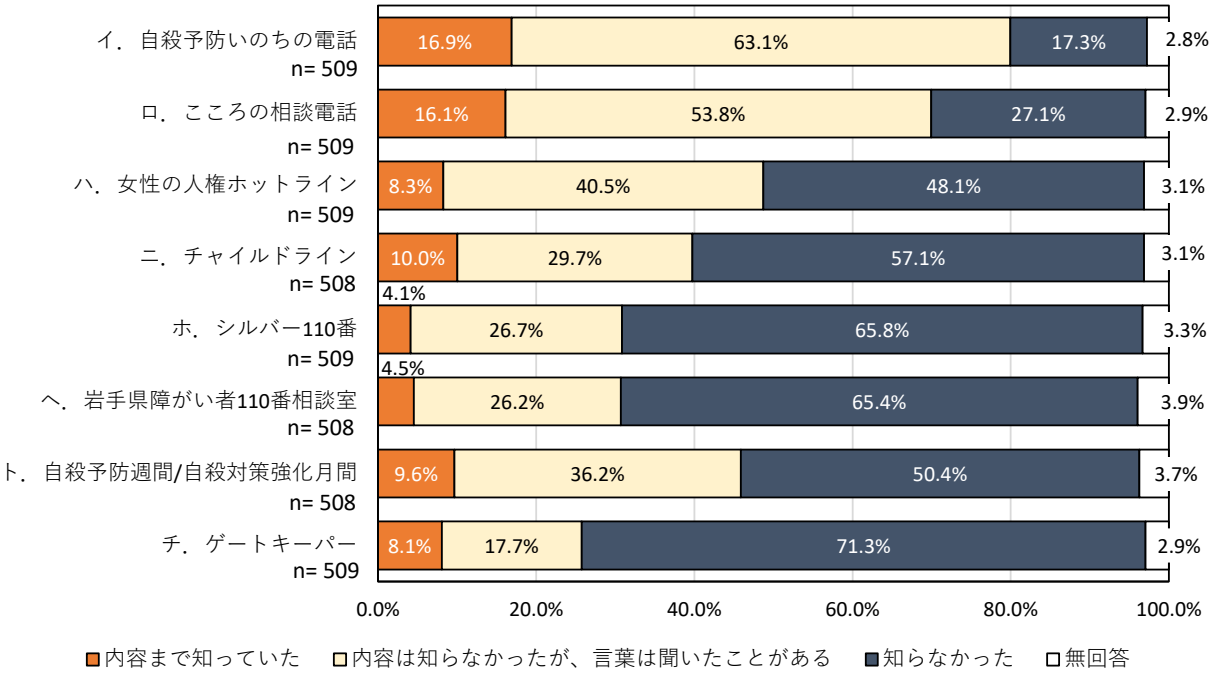
設問		そう思わない	どちらかというとそう思わない	どちらともいえない	どちらかというとそう思う	そう思う	無回答	計
イ．自殺対策は自分自身に関わる問題である	人	69	57	168	115	84	16	509
	%	13.6	11.2	33.0	22.6	16.5	3.1	100.0
ロ．自殺対策の本質は、生きる支援であり、いのちを支えることである	人	9	12	97	190	186	15	509
	%	1.8	2.4	19.1	37.3	36.5	2.9	100.0
ハ．自殺対策は、保険、医療、福祉、教育、労働等の様々な施策が連動しつつ、推進されなければならない	人	9	8	74	152	247	19	509
	%	1.8	1.6	14.5	29.9	48.5	3.7	100.0

“自殺対策は自分自身に関わる問題である”は「そう思わない」「どちらかというとそう思わない」を合わせると 24.8%、「どちらかというとそう思う」「そう思う」を合わせると 39.1%となっています。

“自殺対策の本質は、生きる支援であり、いのちを支えることである”は「そう思わない」「どちらかというとそう思わない」を合わせると 4.1%、「どちらかというとそう思う」「そう思う」を合わせると 73.9%となっています。

“自殺対策は、保険、医療、福祉、教育、労働等の様々な施策が連動しつつ、推進されなければならない”は「そう思わない」「どちらかというとそう思わない」を合わせると 3.3%、「どちらかというとそう思う」「そう思う」を合わせると 78.4%となっています。

問 12 あなたは、自殺対策に関する以下の相談先や事柄について知っていましたか。（それぞれに〇は１つ）



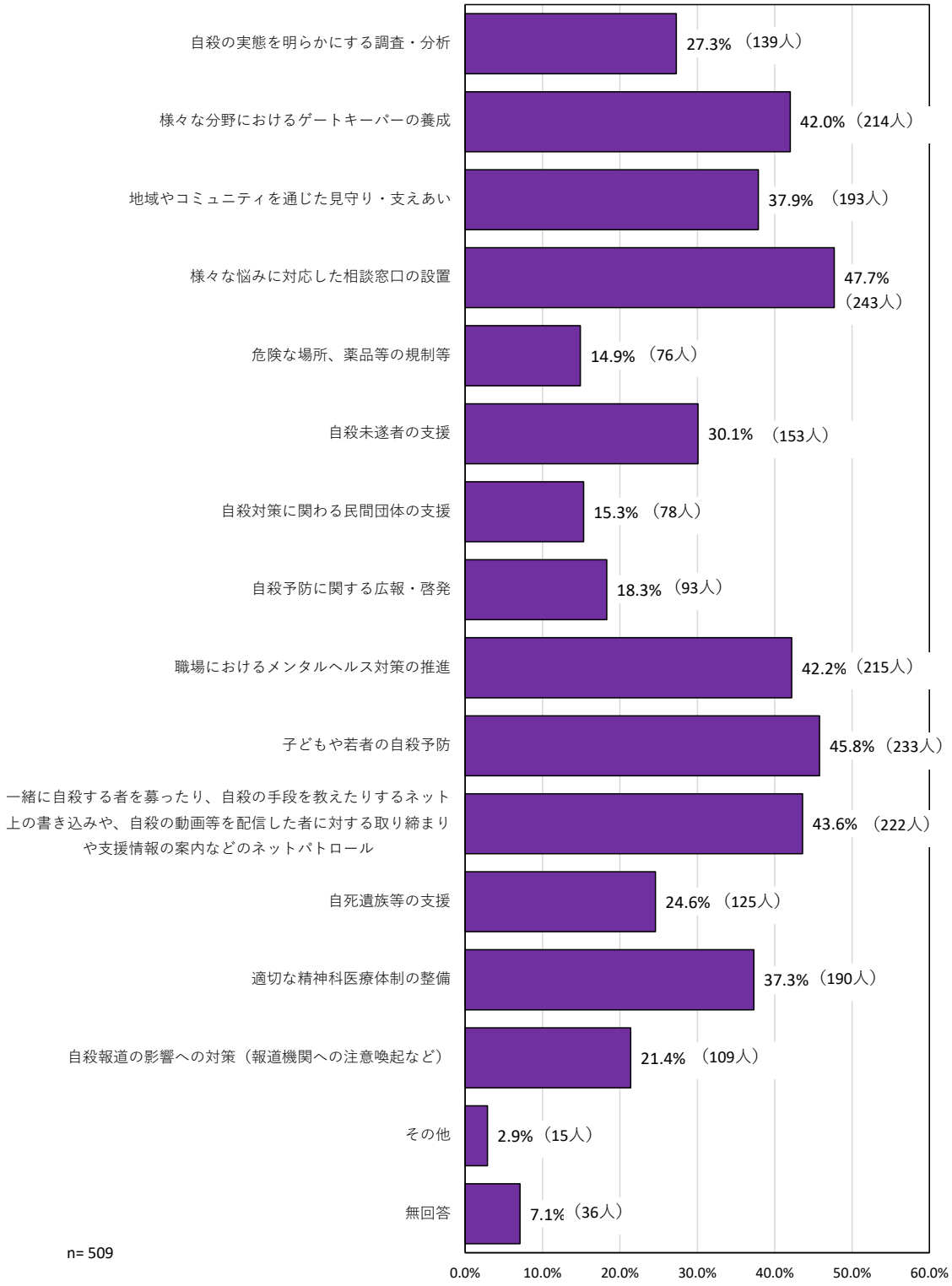
設問		内容まで知っていた	内容は知らなかったが、言葉は聞いたことがある	知らなかった	無回答	計
イ．自殺予防いのちの電話	人	86	321	88	14	509
	%	16.9	63.1	17.3	2.8	100.0
ロ．こころの相談電話	人	82	274	138	15	509
	%	16.1	53.8	27.1	2.9	100.0
ハ．女性の人権ホットライン	人	42	206	245	16	509
	%	8.3	40.5	48.1	3.1	100.0
ニ．チャイルドライン	人	51	151	290	16	508
	%	10.0	29.7	57.1	3.1	100.0
ホ．シルバー110 番	人	21	136	335	17	509
	%	4.1	26.7	65.8	3.3	100.0
ヘ．岩手県障がい者 110 番相談室	人	23	133	332	20	508
	%	4.5	26.2	65.4	3.9	100.0
ト．自殺予防週間/自殺対策強化月間	人	49	184	256	19	508
	%	9.6	36.2	50.4	3.7	100.0
チ．ゲートキーパー	人	41	90	363	15	509
	%	8.1	17.7	71.3	2.9	100.0

「内容まで知っていた」が最も高いのは“自殺予防いのちの電話”（16.9%）、次いで“こころの相談電話”（16.1%）、“チャイルドライン”（10.0%）の順で高くなっています。

「内容はしらなかったが、言葉は聞いたことがある」が最も高いのは“自殺予防いのちの電話”（63.1%）、次いで“こころの相談電話”（53.8%）、“女性の人権ホットライン”（40.5%）の順で高くなっています。

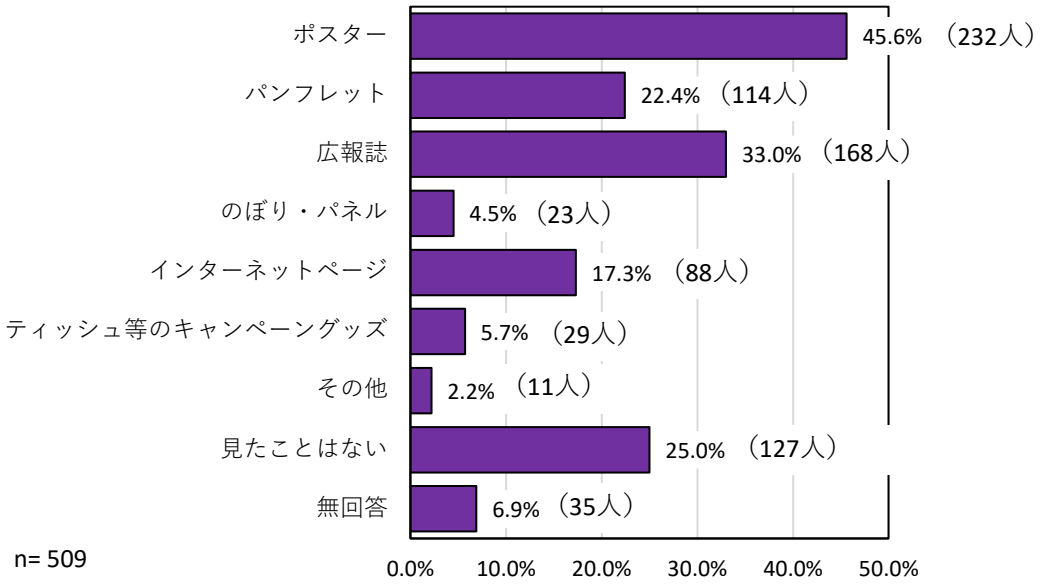
「知らなかった」が最も高いのは“ゲートキーパー”（71.3%）、次いで“シルバー110番”（65.8%）、“岩手県障がい者 110 番相談室”（65.4%）の順で高くなっています。

問 13 今後求められるものとして、どのような自殺対策が有効であると思いますか。以下の中であてはまるもの全てに〇をつけてください。（〇はいくつでも）



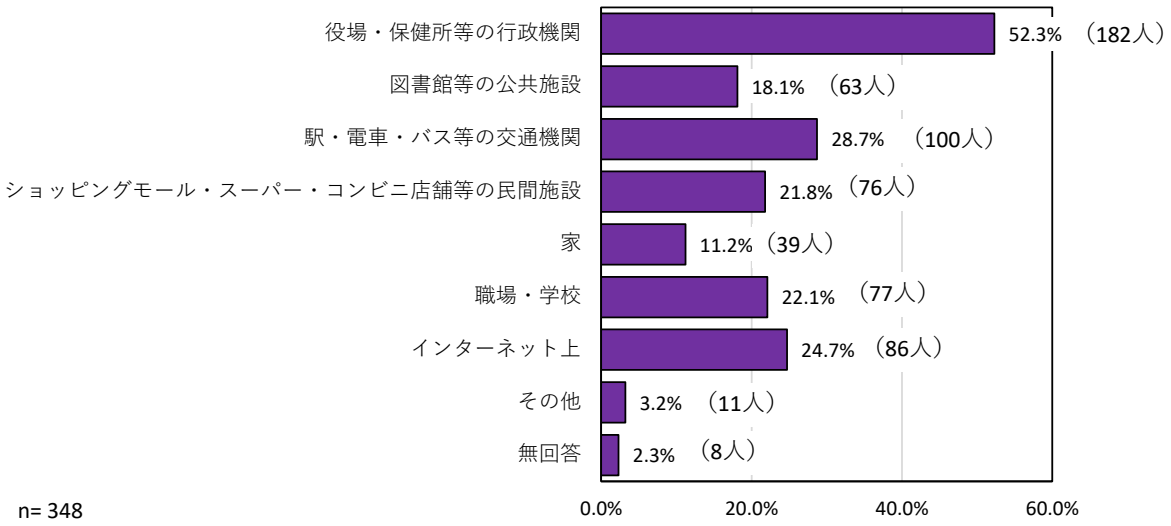
有効な自殺対策は「様々な悩みに対応した相談窓口の設置」243 人（47.7%）が最も高く、次いで「子どもや若者の自殺予防」233 人（45.8%）、「一緒に自殺する者を募ったり、自殺の手段を教えたりするネット上の書き込みや、自殺の動画等を配信した者に対する取り締まりや支援情報の案内などのネットパトロール」222 人（43.6%）の順で高くなっています。

問 14 あなたはこれまで自殺対策に関する啓発物を見たことがありますか。（〇はいくつでも）



見たことがある啓発物は、「ポスター」232 人（45.6%）が最も高く、次いで「広報誌」168 人（33.0%）、「パンフレット」114 人（22.4%）の順で高く、「見たことはない」は 127 人（25.0%）となっており、回答者の 4 分の 1 の方は自殺対策に関する啓発物を見たことがないと回答しています。

問 15 （問 14 で 1～7 に〇を付けた方）その自殺対策に関する啓発物は、どこで見ましたか。（〇はいくつでも）

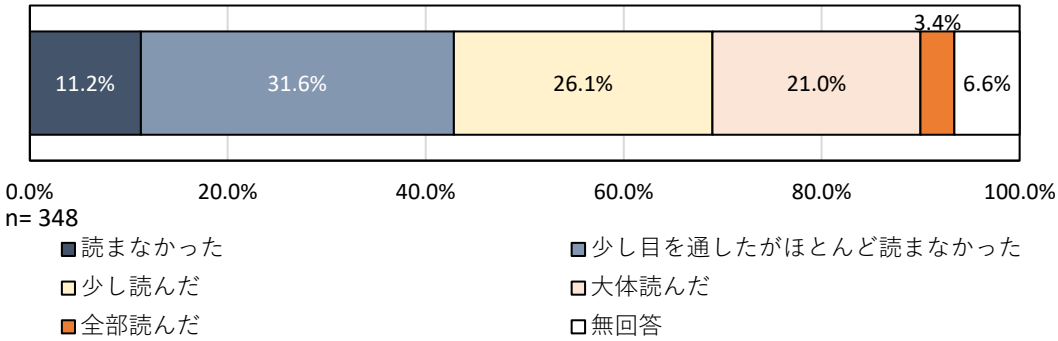


啓発物を見たのは「役場・保健所等の行政機関」182 人（52.3%）が最も高く、次いで「駅・電車・バス等の交通機関」100 人（28.7%）、「インターネット上」86 人（24.7%）の順で高くなっています。

問 16 （問 14 で１～７に〇を付けた方）自殺対策に関する啓発物を見たとき、あなたはどうしましたか。（〇は１つ）

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 読まなかった	39	11.2
2 少し目を通したがほとんど読まなかった	110	31.6
3 少し読んだ	91	26.1
4 大体読んだ	73	21.0
5 全部読んだ	12	3.4
無回答	23	6.6

有効票数 = 348

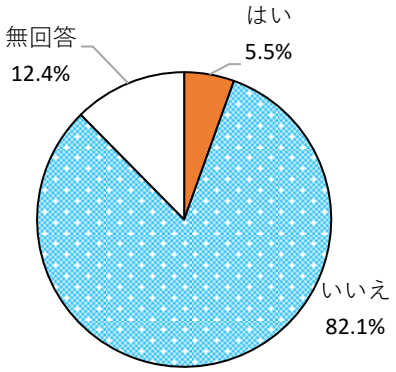


啓発物を見たとき、「少し目を通したがほとんど読まなかった」110 人（31.6%）、「少し読んだ」91 人（26.1%）、「大体読んだ」73 人（21.0%）の順で多くなっています。

問 17 自殺対策に関する講演会や講習会に参加したことがありますか。（〇は１つ）

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 はい	28	5.5
2 いいえ	418	82.1
無回答	63	12.4

有効票数 = 509



自殺に関する講演会や講習会への参加は「はい」28 人（5.5%）、「いいえ」418 人（82.1%）となっており、回答者の 8 割以上は講演会や講習会に参加したことがないと回答しています。

（５）相談することに関しておたずねします

問 18　あなたは悩みやストレスを感じた時に、どう考えますか。（それぞれに○は１つ）

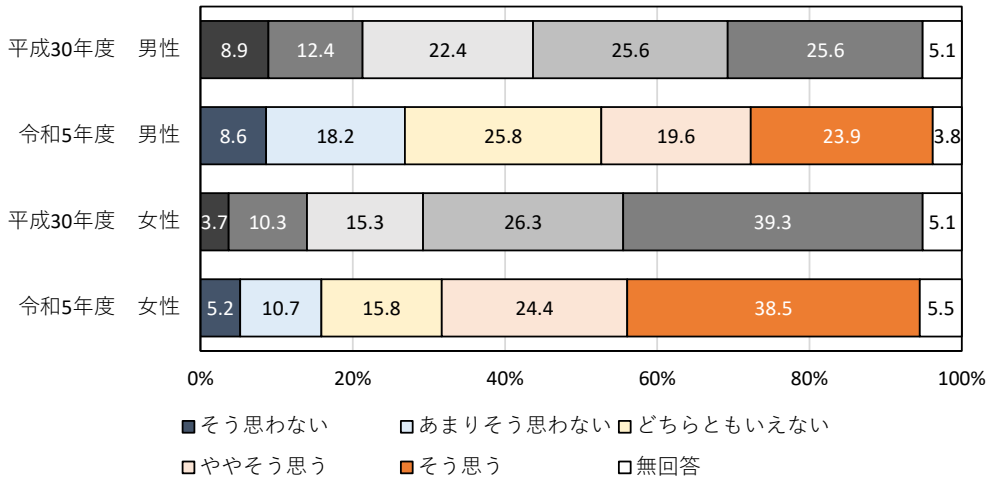
設問		そう思わない	あまりそう思わない	どちらともいえない	ややそう思う	そう思う	無回答	計
イ．助けを求めたり、誰かに相談したいと思う	人	35	69	102	113	165	25	509
	%	6.9	13.6	20.0	22.2	32.4	4.9	100.0
ロ．誰かに相談したりすることは恥ずかしいことだと思う	人	208	120	95	41	16	29	509
	%	40.9	23.6	18.7	8.1	3.1	5.7	100.0
ハ．悩みやストレスを感じていることを、他人に知られたくないと思う	人	111	94	122	110	43	29	509
	%	21.8	18.5	24.0	21.6	8.4	5.7	100.0
ニ．誰かに悩みを相談することは、弱い人のすることだと思う	人	278	100	77	12	12	29	508
	%	54.7	19.7	15.2	2.4	2.4	5.7	100.0
ホ．悩みや問題は、自分ひとりで解決すべきだと思う	人	242	104	97	19	18	29	509
	%	47.5	20.4	19.1	3.7	3.5	5.7	100.0

「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた「思わない」が最も高いのは、“誰かに悩みを相談することは、弱い人のすることだと思う”（74.4%）、次いで“悩みや問題は、自分ひとりで解決すべきだと思う”（68.0%）、“誰かに相談したりすることは恥ずかしいことだと思う”（64.4%）の順で高くなっています。

「ややそう思う」と「そう思う」を合わせた「思う」が最も高いのは、“助けをもとめたり、誰かに相談したいと思う”（54.6%）、次いで“悩みやストレスを感じていることを、他人に知られたくないと思う”（30.1%）、“誰かに相談したりすることは恥ずかしいことだと思う”（11.2%）の順で高くなっています。

「どちらともいえない」が最も高いのは、“悩みやストレスを感じていることを、他人に知られたくないと思う”（24.0%）、次いで“助けを求めたり、誰かに相談したいと思う”（20.0%）、“悩みや問題は、自分ひとりで解決すべきだと思う”（19.1%）の順で高くなっています。

イ．助けを求めたり、誰かに相談したいと思う

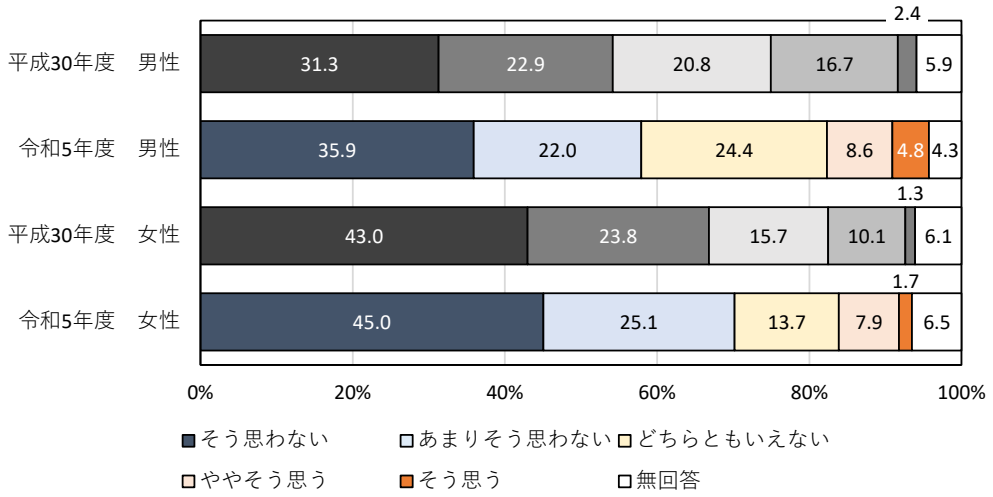


令和 5 年度では、“男性”は「そう思わない」「あまりそう思わない」を合わせると 26.8%、「ややそう思う」「そう思う」を合わせると 43.5%となっており、「ややそう思う」「そう思う」の方が 16.7 ポイント高くなっている。

“女性”は「そう思わない」「あまりそう思わない」を合わせると 15.9%、「ややそう思う」「そう思う」を合わせると 62.9%となっており、「ややそう思う」「そう思う」が半数以上を占めている。

平成 30 年度と比べると、“男性”は「そう思わない」「あまりそう思わない」が 5.5 ポイント増加し、「ややそう思う」「そう思う」は 7.7 ポイント減少している。“女性”では「そう思わない」「あまりそう思わない」が 1.9 ポイント増加し、「ややそう思う」「そう思う」は 2.7 ポイント減少している。

ロ．誰かに相談したりすることは恥ずかしいことだと思う

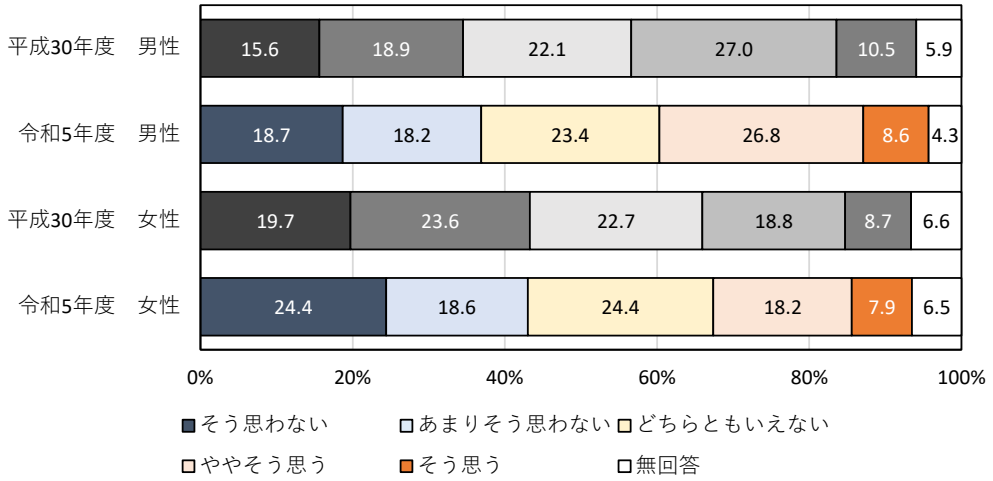


令和 5 年度では、“男性”は「そう思わない」「あまりそう思わない」を合わせると 57.9%と半数以上を占め、「ややそう思う」「そう思う」を合わせると 13.4%となっている。

“女性”は「そう思わない」「あまりそう思わない」を合わせると 70.1%と 7 割を占め、「ややそう思う」「そう思う」を合わせると 9.6%となっており、「ややそう思う」「そう思う」が半数以上を占めている。

平成 30 年度と比べると、“男性”は「そう思わない」「あまりそう思わない」が 3.7 ポイント増加し、「ややそう思う」「そう思う」は 5.7 ポイント減少している。“女性”では「そう思わない」「あまりそう思わない」が 3.3 ポイント増加し、「ややそう思う」「そう思う」は 1.8 ポイント減少している。

ハ．悩みやストレスを感じていることを、他人に知られたくないと思う

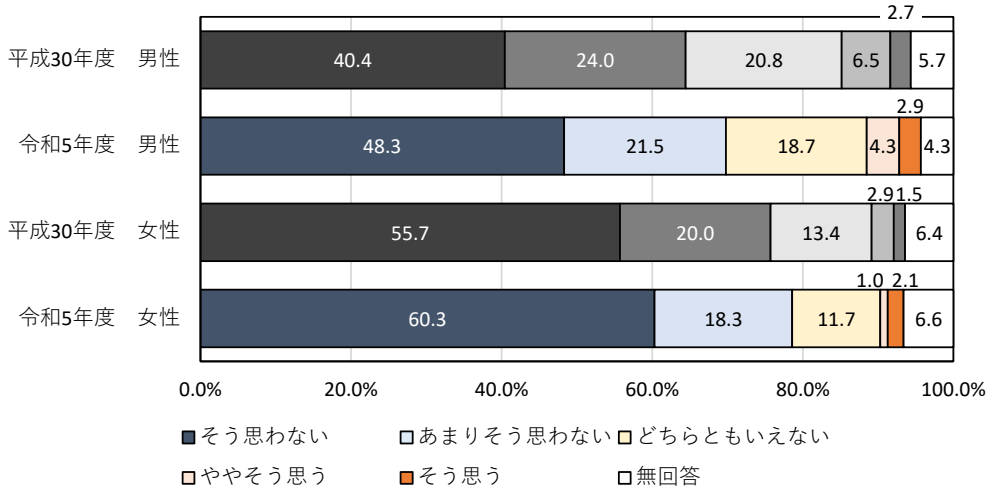


令和 5 年度では、“男性”は「そう思わない」「あまりそう思わない」を合わせると 36.9%となっており、「ややそう思う」「そう思う」を合わせると 35.4%と、「そう思わない」「あまりそう思わない」が 1.5 ポイント高くなっている。

“女性”は「そう思わない」「あまりそう思わない」を合わせると 43.0%、「ややそう思う」「そう思う」を合わせると 26.1%となっており、「そう思わない」「あまりそう思わない」が 16.9 ポイント高くなっている。

平成 30 年度と比べると、“男性”は「そう思わない」「あまりそう思わない」が 2.4 ポイント増加し、「ややそう思う」「そう思う」は 2.1 ポイント減少している。“女性”では「そう思わない」「あまりそう思わない」が 0.3 ポイント減少し、「ややそう思う」「そう思う」は 1.3 ポイント減少している。

ニ．誰かに悩みを相談することは、弱い人のすることだと思う

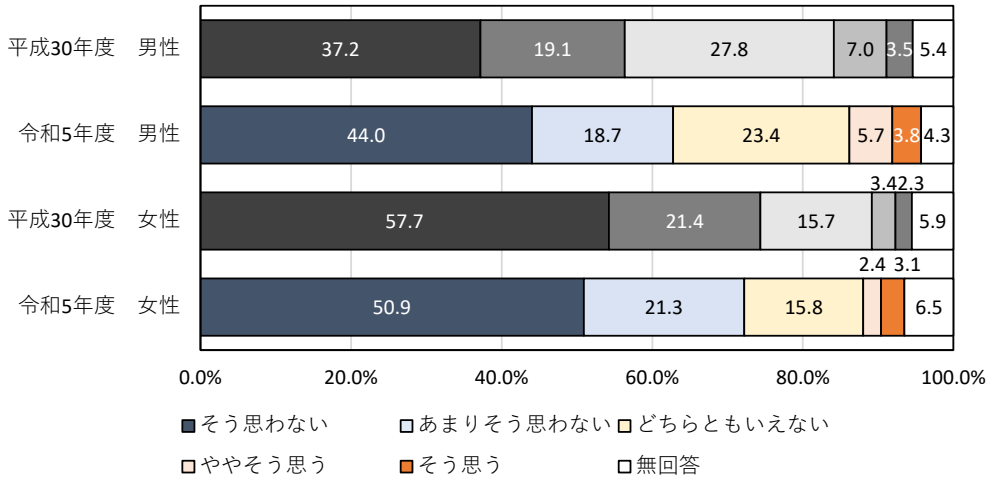


令和 5 年度では、“男性”は「そう思わない」「あまりそう思わない」を合わせると 69.8%とおよそ 7 割を占め、「ややそう思う」「そう思う」を合わせると 7.2%となっている。

“女性”は「そう思わない」「あまりそう思わない」を合わせると 78.6%とおよそ 8 割を占め、「ややそう思う」「そう思う」を合わせると 3.1%となっている。

平成 30 年度と比べると、“男性”は「そう思わない」「あまりそう思わない」が 5.4 ポイント増加し、「ややそう思う」「そう思う」は 2.0 ポイント減少している。“女性”では「そう思わない」「あまりそう思わない」が 2.9 ポイント増加し、「ややそう思う」「そう思う」は 1.3 ポイント減少している。

ホ．悩みや問題は、自分ひとりで解決すべきだと思う

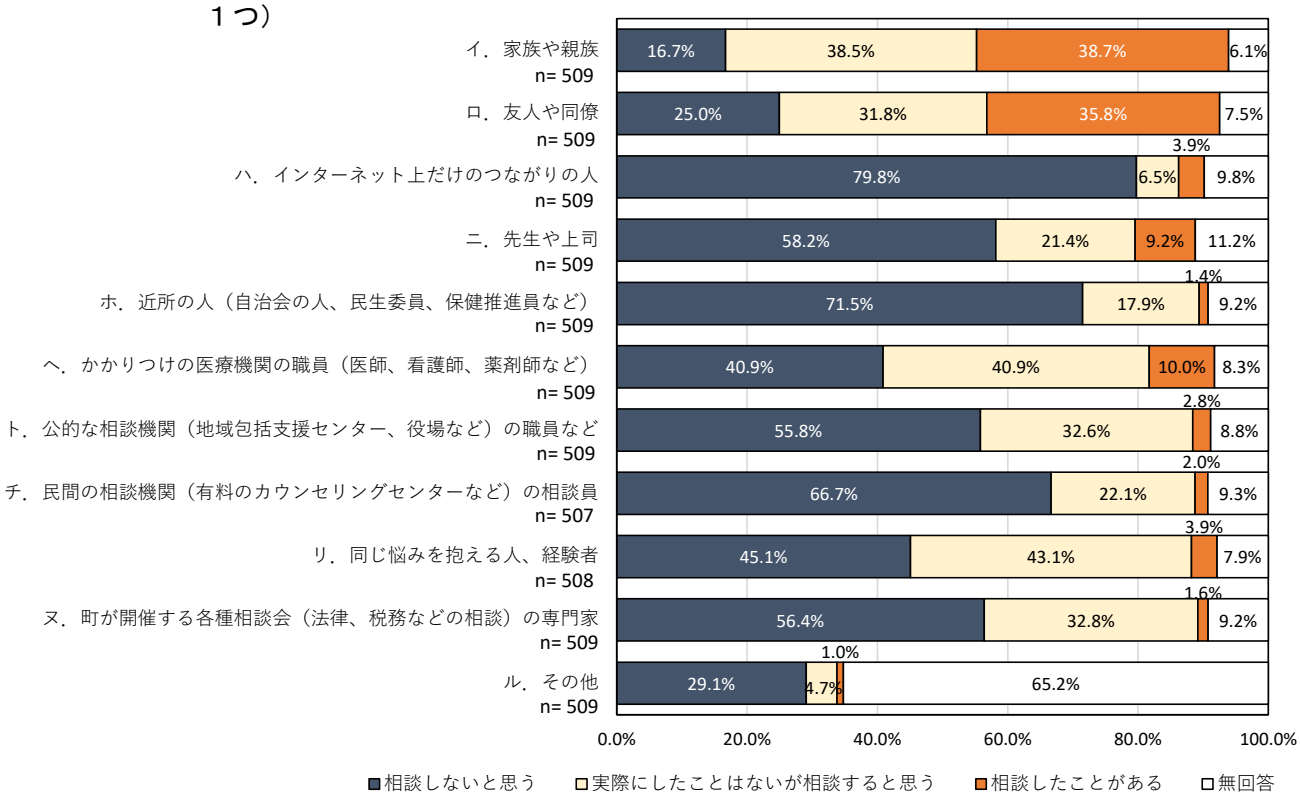


令和 5 年度では、“男性”は「そう思わない」「あまりそう思わない」を合わせると 62.7%とおよそ 6 割以上を占め、「ややそう思う」「そう思う」を合わせると 9.5%となっている。

“女性”は「そう思わない」「あまりそう思わない」を合わせると 72.2%と 7 割を占め、「ややそう思う」「そう思う」を合わせると 5.5%となっている。

平成 30 年度と比べると、“男性”は「そう思わない」「あまりそう思わない」が 6.4 ポイント増加し、「ややそう思う」「そう思う」は 1.0 ポイント減少している。“女性”では「そう思わない」「あまりそう思わない」が 6.8 ポイント減少し、「ややそう思う」「そう思う」は 0.2 ポイント減少している。

問 19　あなたは悩みやストレスを感じた時、誰に相談すると思いますか。（それぞれに〇を 1 つ）



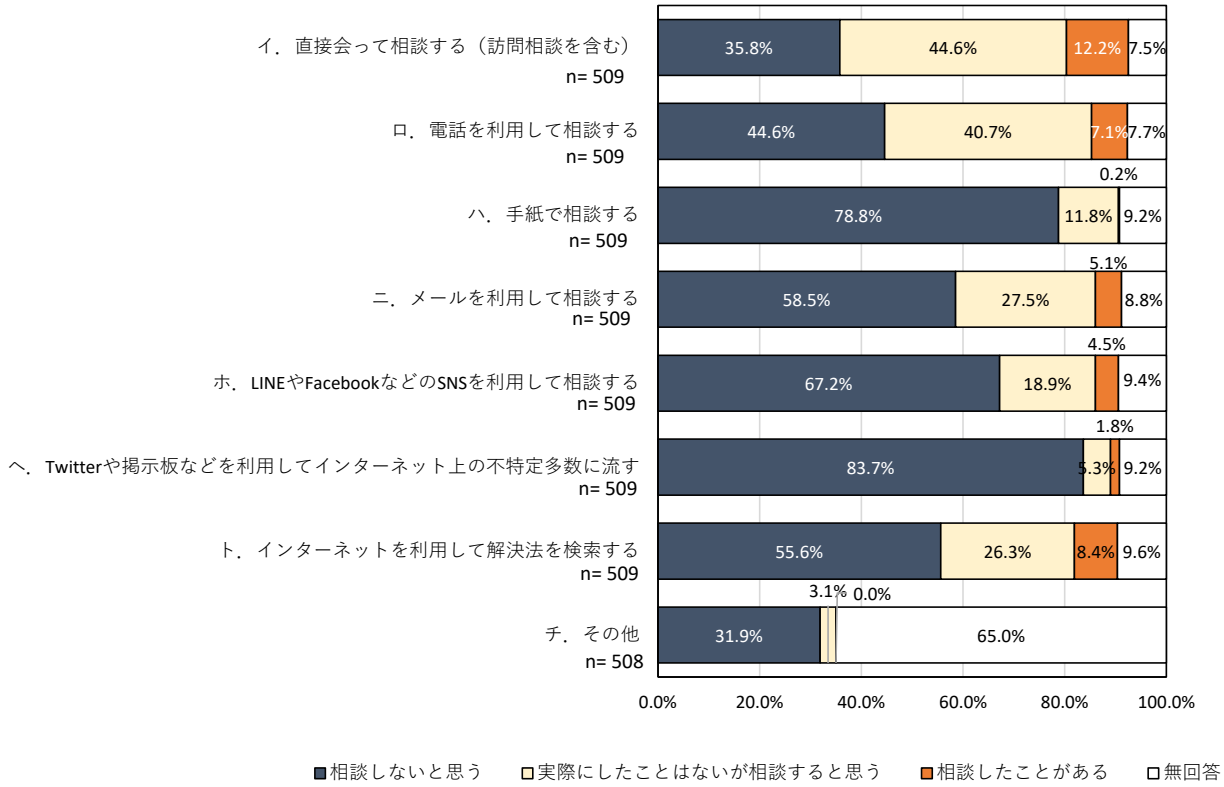
設問		相談しないと思う	実際にしたことはないが相談すると思う	相談したことがある	無回答	計
イ．家族や親族	人	85	196	197	31	509
	%	16.7	38.5	38.7	6.1	100.0
ロ．友人や同僚	人	127	162	182	38	509
	%	25.0	31.8	35.8	7.5	100.0
ハ．インターネット上だけのつながりの人	人	406	33	20	50	509
	%	79.8	6.5	3.9	9.8	100.0
ニ．先生や上司	人	296	109	47	57	509
	%	58.2	21.4	9.2	11.2	100.0
ホ．近所の人（自治会の人、民生委員、保健推進員など）	人	364	91	7	47	509
	%	71.5	17.9	1.4	9.2	100.0
ヘ．かかりつけの医療機関の職員（医師、看護師、薬剤師など）	人	208	208	51	42	509
	%	40.9	40.9	10.0	8.3	100.0
ト．公的な相談機関（地域包括支援センター、役場など）の職員など	人	284	166	14	45	509
	%	55.8	32.6	2.8	8.8	100.0
チ．民間の相談機関（有料のカウンセリングセンターなど）の相談員	人	338	112	10	47	507
	%	66.7	22.1	2.0	9.3	100.0
リ．同じ悩みを抱える人、経験者	人	229	219	20	40	508
	%	45.1	43.1	3.9	7.9	100.0
ヌ．町が開催する各種相談会（法律、税務などの相談）の専門家	人	287	167	8	47	509
	%	56.4	32.8	1.6	9.2	100.0
ル．その他	人	148	24	5	332	509
	%	29.1	4.7	1.0	65.2	100.0

「相談しないと思う」が最も高いのは“インターネット上だけのつながりの人”（79.8%）、次いで“近所の人（自治会の人、民生委員、保健推進員など）”（71.5%）、“民間の相談機関（有料のカウンセリングセンターなど）の相談員”（66.7%）の順で高くなっています。

「実際にしたことはないが相談すると思う」が最も高いのは“同じ悩みを抱える人、経験者”（43.1%）、次いで“かかりつけの医療機関の職員（医師、看護師、薬剤師など）”（40.9%）、“家族や親族”（38.5%）の順で高くなっています。

「相談したことがある」が最も高いのは“家族や親族”（38.7%）、次いで“友人や同僚”（35.8%）、“かかりつけの医療機関の職員（医師、看護師、薬剤師など）”（10.0%）の順で高くなっています。

問 20　あなたは悩みやストレスを感じた時に、どの方法を使って悩みを相談したいと思いますか。（それぞれに〇を１つ）



設問		相談しないと思う	実際にしたことはないが相談すると思う	相談したことがある	無回答	計
イ．直接会って相談する（訪問相談を含む）	人	182	227	62	38	509
	%	35.8	44.6	12.2	7.5	100.0
ロ．電話を利用して相談する	人	227	207	36	39	509
	%	44.6	40.7	7.1	7.7	100.0
ハ．手紙で相談する	人	401	60	1	47	509
	%	78.8	11.8	0.2	9.2	100.0
ニ．メールを利用して相談する	人	298	140	26	45	509
	%	58.5	27.5	5.1	8.8	100.0
ホ．LINE や Facebook などの SNS を利用して相談する	人	342	96	23	48	509
	%	67.2	18.9	4.5	9.4	100.0
ヘ.Twitter や掲示板などを利用してインターネット上の不特定多数に流す	人	426	27	9	47	509
	%	83.7	5.3	1.8	9.2	100.0
ト．インターネットを利用して解決法を検索する	人	283	134	43	49	509
	%	55.6	26.3	8.4	9.6	100.0
チ．その他	人	162	16	0	330	508
	%	31.9	3.1	0.0	65.0	100.0

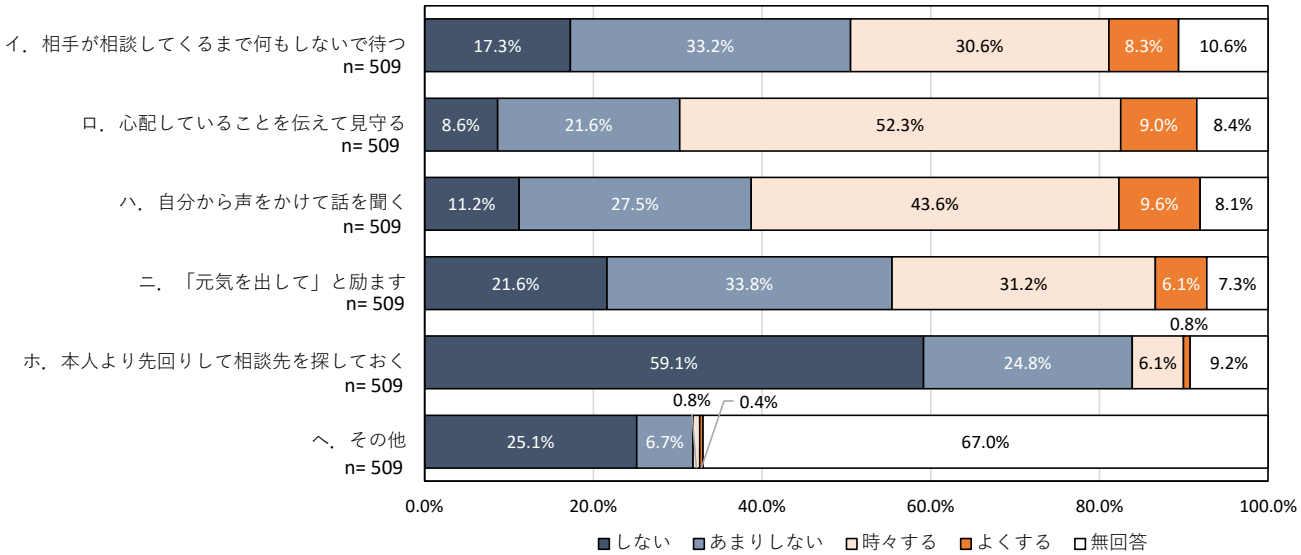
「相談しないと思う」が最も高いのは“Twitter や掲示板などを利用してインターネット上の不特定多数に流す”（83.7%）、次いで“手紙で相談する”（78.8%）、“LINE や Facebook などの SNS を利用して相談する”（67.2%）の順で高くなっています。

「実際にしたことはないが相談すると思う」が最も高いのは“直接会って相談する（訪問相談を含む）”（44.6%）、次いで“電話を利用して相談する”（40.7%）、“メールを利用して相談する”（27.5%）の順で高くなっています。

「相談したことがある」が最も高いのは“直接会って相談する”（12.2%）、次いで“インターネットを利用して解決法を検索する”（8.4%）、“電話を利用して相談する”（7.1%）の順で高くなっています。

（６）相談を受けることに関しておたずねします

問 21　理由はわからないけれど、身近な人がいつもと違った様子で辛そうに見えた時に、あなたはどうしますか。（それぞれに〇を１つ）

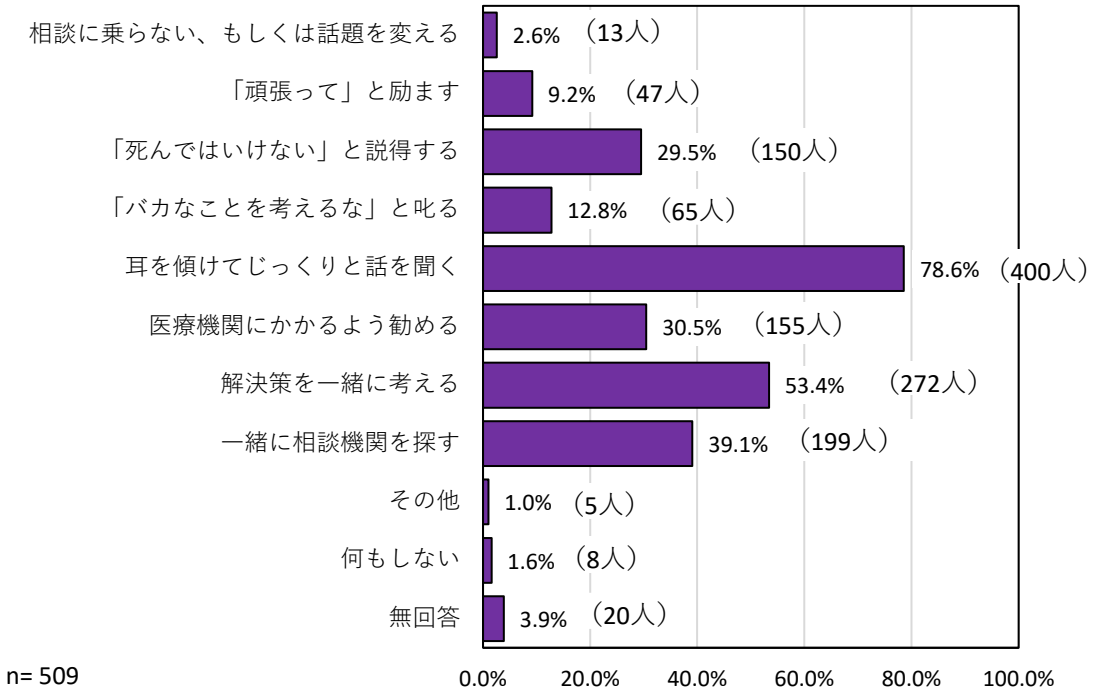


設問		しない	あまりしない	時々する	よくする	無回答	計
イ．相手が相談してくるまで何もしないで待つ	人	88	169	156	42	54	509
	%	17.3	33.2	30.6	8.3	10.6	100.0
ロ．心配していることを伝えて見守る	人	44	110	266	46	43	509
	%	8.6	21.6	52.3	9.0	8.4	100.0
ハ．自分から声をかけて話を聞く	人	57	140	222	49	41	509
	%	11.2	27.5	43.6	9.6	8.1	100.0
ニ．「元気を出して」と励ます	人	110	172	159	31	37	509
	%	21.6	33.8	31.2	6.1	7.3	100.0
ホ．本人より先回りして相談先を探しておく	人	301	126	31	4	47	509
	%	59.1	24.8	6.1	0.8	9.2	100.0
ヘ．その他	人	128	34	4	2	341	509
	%	25.1	6.7	0.8	0.4	67.0	100.0

「しない」と「あまりしない」を合わせると、最も高いのは“本人より先回りして相談先を探しておく”（83.9%）、次いで“「元気を出して」と励ます”（55.4%）、“相手が相談してくるまで何もしないで待つ”（50.5%）の順で高くなっています。

「時々する」と「よくする」を合わせると、最も高いのは“心配していることを伝えて見守る”（61.3%）、次いで“自分から声をかけて話を聞く”（53.2%）、“相手が相談してくるまで何もしないで待つ”（38.9%）の順で高くなっています。

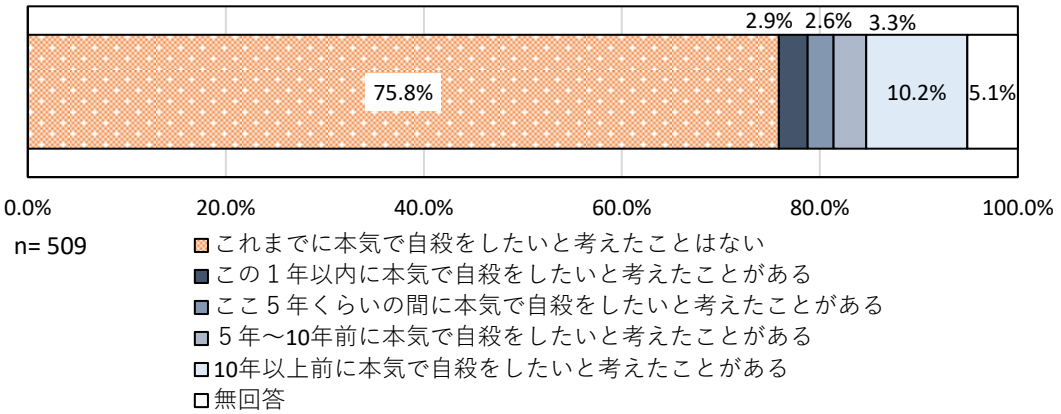
問 22　もし身近な人から「死にたい」と打ち明けられた時、あなたはどのように対応しますか。（○はいくつでも）



身近の人から「死にたい」と打ち明けられた時の対応で最も高いのは、「耳を傾けてじっくりとお話を聞く」400 人（78.6%）、次いで「解決策を一緒に考える」272 人（53.4%）、「一緒に相談機関を探す」199 人（39.1%）の順で高くなっています。

（７）自殺を考えたことがある方について

問 23　あなたはこれまでに、本気で自殺をしたいと考えたことはありますか。（○は１つ）



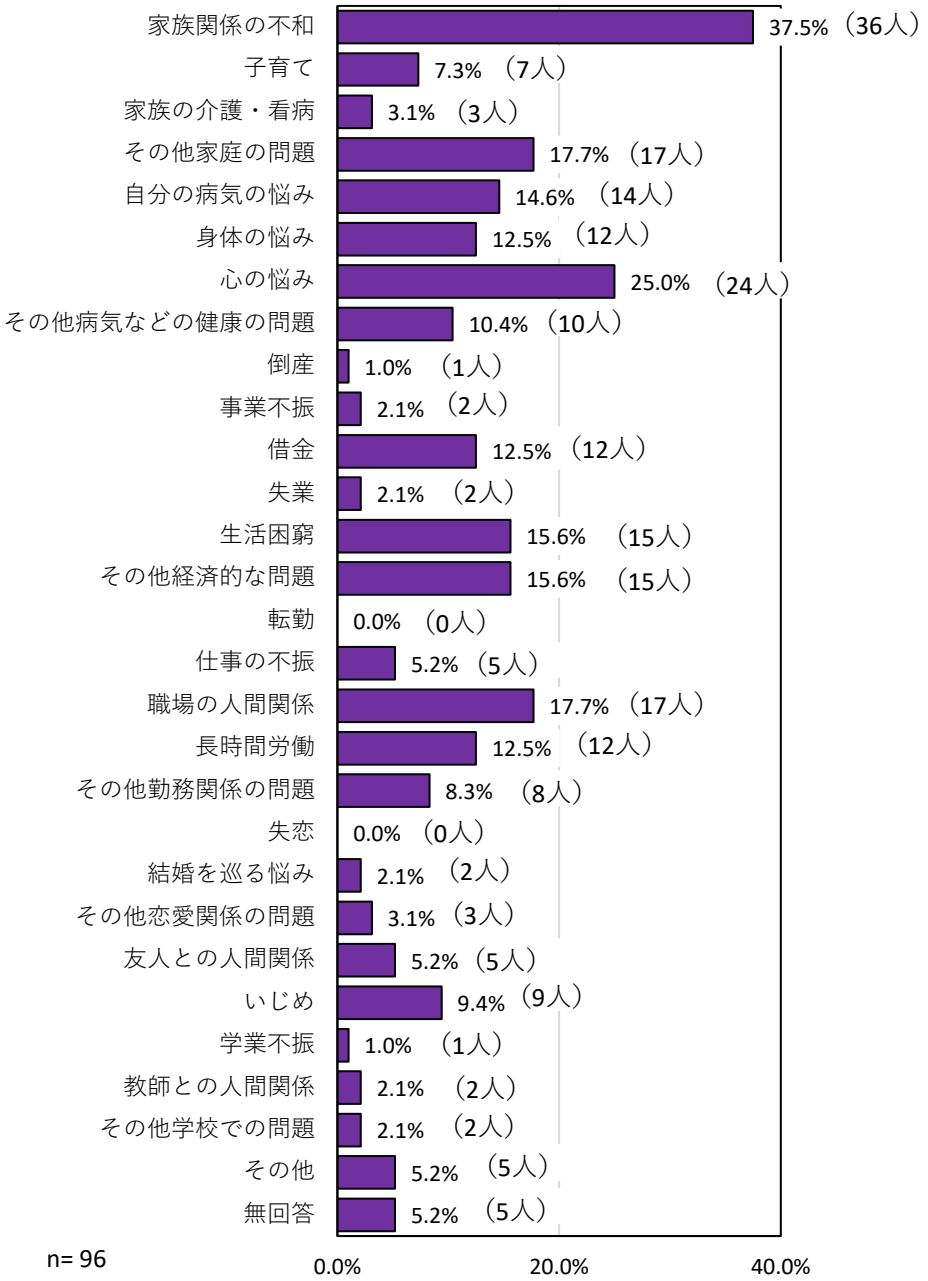
選択肢	回答数(人)	比率(%)
1　これまでに本気で自殺をしたいと考えたことはない	386	75.8
2　この１年以内に本気で自殺をしたいと考えたことがある	15	2.9
3　ここ５年くらいの間に本気で自殺をしたいと考えたことがある	13	2.6
4　５年～10年前に本気で自殺をしたいと考えたことがある	17	3.3
5　10年以上前に本気で自殺をしたいと考えたことがある	52	10.2
無回答	26	5.1

有効票数 ＝ 509

「これまでに本気で自殺をしたいと考えたことはない」386 人（75.8%）が多くを占めていますが、「10 年以上前に本気で自殺をしたいと考えたことがある」52 人（10.2%）、「5 年～10 年前に本気で自殺をしたいと考えたことがある」17 人（3.3%）の順で高くなっています。

本気で自殺を考えたことがある方の合計は 97 人（19.0%）です。

問 24　自殺をしたいと考えた理由や原因はどのようなことでしたか。（○はいくつでも）



自殺を考えた理由や原因で最も高いのは「家族関係の不和」36 人（37.5%）、次いで「心の悩み」24 人（25.0%）、「その他家庭の問題」「職場の人間関係」ともに 17 人（17.7%）の順で高くなっています。

【男女別年代別】※15～19 歳は 0 人だったため割愛

男性		家族関係の不和	子育て	家族の介護・看病	その他家庭の問題	自分の病気の悩み	身体の悩み	心の悩み	その他病気などの健康の問題
20 代	人	3	0	0	0	3	2	5	2
	%	60.0	0.0	0.0	0.0	60.0	40.0	100.0	40.0
30 代	人	1	0	0	0	0	0	0	0
	%	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40 代	人	0	0	0	0	0	1	1	0
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0
50 代	人	1	0	0	1	1	1	2	1
	%	11.1	0.0	0.0	11.1	11.1	11.1	22.2	11.1
60 代以上	人	2	1	0	3	2	2	2	1
	%	25.0	12.5	0.0	37.5	25.0	25.0	25.0	12.5

男性		倒産	事業不振	借金	失業	生活困窮	その他経済的な問題	転勤	仕事の不振
20 代	人	0	0	0	0	3	1	0	1
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	20.0	0.0	20.0
30 代	人	0	0	0	0	0	0	0	0
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40 代	人	0	0	3	0	0	1	0	0
	%	0.0	0.0	60.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
50 代	人	0	0	1	1	3	1	0	1
	%	0.0	0.0	11.1	11.1	33.3	11.1	0.0	11.1
60 代以上	人	1	1	4	0	2	1	0	1
	%	12.5	12.5	50.0	0.0	25.0	12.5	0.0	12.5

男性		職場の人間関係	長時間労働	その他勤務関係の問題	失恋	結婚を巡る悩み	その他恋愛関係の問題	友人との人間関係	いじめ
20 代	人	3	2	1	0	0	0	0	1
	%	60.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
30 代	人	0	0	0	0	0	0	0	0
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40 代	人	0	1	1	0	0	0	0	0
	%	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
50 代	人	2	2	0	0	1	0	1	0
	%	22.2	22.2	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0
60 代以上	人	0	2	0	0	0	1	1	1
	%	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	12.5

男性		学業不振	教師との人間関係	その他学校での問題	その他	無回答	計
20 代	人	1	1	0	0	0	5
	%	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	100.0
30 代	人	0	0	0	0	0	1
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
40 代	人	0	0	0	0	0	5
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
50 代	人	0	0	0	0	1	9
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	100.0
60 代以上	人	0	0	0	1	0	8
	%	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	100.0

男性では“20 代”は、「心の悩み」（5 人、100.0%）が最も高く、次いで「家族関係の不和」「自分の病気の悩み」「生活困窮」（各 3 人、60.0%）の順で高くなっている。

“30 代”では、1 人が「家族関係の不和」と回答している。

“40 代”では、「借金」（3 人、60.0%）、次いで「その他経済的な問題」「長時間労働」「その他勤務関係の問題」（各 1 人、20.0%）となっている。

“50 代”では、「生活困窮」（3 人、33.3%）、次いで「職場の人間関係」「長時間労働」（各 2 人、22.2%）の順で高くなっている。

“60 代以上”では、「借金」（4 人、50.0%）、次いで「生活困窮」「長時間労働」（各 2 人、25.0%）の順で高くなっている。

女性		家族関係の不和	子育て	家族の介護・看病	その他家庭の問題	自分の病気の悩み	身体の悩み	心の悩み	その他病気などの健康の問題
20代	人	2	1	0	1	1	1	1	0
	%	25.0	12.5	0.0	12.5	12.5	12.5	12.5	0.0
30代	人	4	3	0	1	1	0	5	0
	%	36.4	27.3	0.0	9.1	9.1	0.0	45.5	0.0
40代	人	3	0	0	2	0	1	1	0
	%	50.0	0.0	0.0	33.3	0.0	16.7	16.7	0.0
50代	人	5	2	1	3	2	1	5	2
	%	38.5	15.4	7.7	23.1	15.4	7.7	38.5	15.4
60代以上	人	13	0	2	5	3	3	1	4
	%	48.1	0.0	7.4	18.5	11.1	11.1	3.7	14.8

女性		倒産	事業不振	自分の病気の悩み	失業	生活困窮	その他経済的な問題	転勤	仕事の不振
20代	人	0	0	0	0	1	0	0	0
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0
30代	人	0	0	0	1	1	3	0	0
	%	0.0	0.0	0.0	9.1	9.1	27.3	0.0	0.0
40代	人	0	0	0	0	1	1	0	0
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0
50代	人	0	0	1	0	2	5	0	1
	%	0.0	0.0	7.7	0.0	15.4	38.5	0.0	7.7
60代以上	人	0	1	3	0	1	2	0	1
	%	0.0	3.7	11.1	0.0	3.7	7.4	0.0	3.7

女性		職場の人間関係	長時間労働	その他勤務関係の問題	失恋	結婚を巡る悩み	その他恋愛関係の問題	友人との人間関係	いじめ
20代	人	3	0	1	0	0	0	0	0
	%	37.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30代	人	5	4	3	0	1	0	1	2
	%	45.5	36.4	27.3	0.0	9.1	0.0	9.1	18.2
40代	人	1	1	1	0	0	0	0	2
	%	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
50代	人	1	0	1	0	0	1	0	2
	%	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0	7.7	0.0	15.4
60代以上	人	2	0	0	0	0	1	0	0
	%	7.4	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0

女性		学業不振	教師との人間関係	その他学校での問題	その他	無回答	計
20 代	人	0	0	0	0	2	8
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	100.0
30 代	人	0	0	0	1	0	11
	%	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	100.0
40 代	人	0	0	0	1	0	6
	%	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	100.0
50 代	人	0	0	0	1	0	13
	%	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	100.0
60 代以上	人	0	0	1	1	1	27
	%	0.0	0.0	3.7	3.7	3.7	100.0

※□は最も高い数値、□は２番目に高いもの、□は３番目に高いもの

女性では“20 代”は、「職場の人間関係」（3 人、37.5%）が最も高く、次いで「家族関係の不和」（2 人、25.0%）、「子育て」「その他家庭の問題」「自分の病気の悩み」「身体の悩み」「心の悩み」「生活困窮」「その他勤務関係の問題」（各 1 人、12.5%）の順で高くなっている。

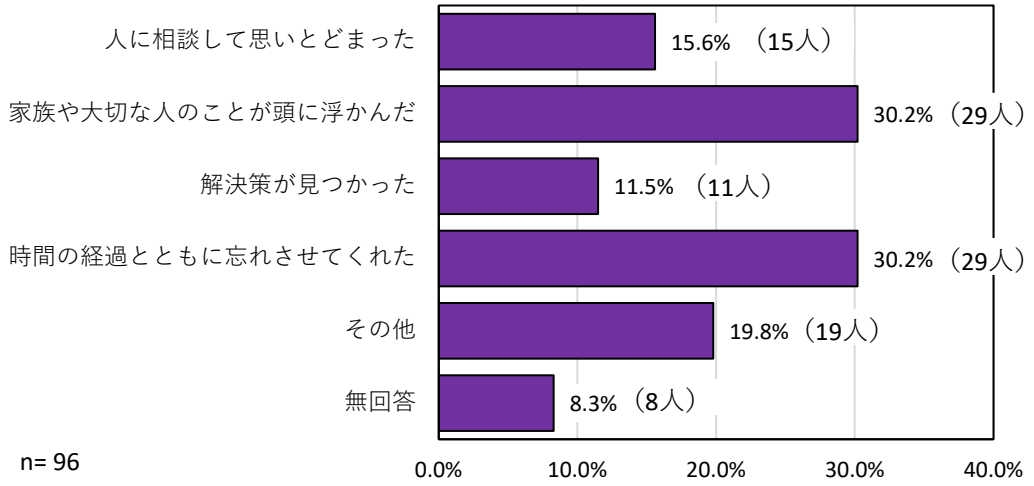
“30 代”では、「心の悩み」「職場の人間関係」（各 5 人、45.5%）が最も高く、次いで「家族関係の不和」「長時間労働」（各 4 人、36.4%）の順で高くなっている。。

“40 代”では、「家族関係の不和」（3 人、50.0%）、次いで「その他家庭の問題」（各 2 人、33.3%）、「身体の悩み」「心の悩み」「生活困窮」「その他経済的な問題」「職場の人間関係」「長時間労働」「その他勤務関係の問題」（各 1 人、16.7%）となっている。

“50 代”では、「家族関係の不和」「心の悩み」「その他経済的な問題」（各 5 人、38.5%）となっている。

“60 代以上”では、「家族関係の不和」（13 人、43.1%）、次いで「その他家庭の問題」（5 人、18.5%）、「自分の病気の悩み」「心の病気」「自分の病気の悩み」（各 3 人、11.1%）の順で高くなっている。

問 25　自殺をしたいという考えを思いとどまった理由は何ですか。（○はいくつでも）



思いとどまった理由で最も高いのは「家族や大切な人のことが頭に浮かんだ」「時間の経過とともに忘れさせてくれた」ともに 29 人（30.2%）、次いで「人に相談して思いとどまった」15 人（15.6%）、「解決策が見つかった」11 人（11.5%）の順で高くなっています。

【男女別年代別】※15～19 歳は 0 人だったため割愛

男性		人に相談して思いとどまった	家族や大切な人のことが頭に浮かんだ	解決策が見つかった	時間の経過とともに忘れさせてくれた	その他	無回答	計
20 代	人	1	1	0	0	2	1	5
	%	20.0	20.0	0.0	0.0	40.0	20.0	100.0
30 代	人	0	1	0	0	0	0	1
	%	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
40 代	人	0	0	2	3	0	0	5
	%	0.0	0.0	40.0	60.0	0.0	0.0	100.0
50 代	人	1	1	1	3	2	1	9
	%	11.1	11.1	11.1	33.3	22.2	11.1	100.0
60 代以上	人	2	3	2	3	1	0	8
	%	25.0	37.5	25.0	37.5	12.5	0.0	100.0

男性では、“20 代”で「人に相談して思いとどまった」「家族や大切な人のことが頭に浮かんだ」（各 1 人、20.0%）となっている。

“30 代”では「家族や大切な人のことが頭に浮かんだ」（1 人、100.0%）となっている。

“40 代”では、「時間の経過とともに忘れさせてくれた」（3 人、60.0%）、次いで「解決策が見つかった」（1 人、40.0%）の順で高くなっている。

“50 代”では、「時間の経過とともに忘れさせてくれた」（3 人、33.3%）、次いで「人に相談して思いとどまった」「家族や大切な人のことが頭に浮かんだ」「解決策が見つかった」（各 1 人、11.1%）の順となっている。

“60 代以上”では「家族や大切な人のことが頭に浮かんだ」「時間の経過とともに忘れさせてくれた」（各 3 人、37.5%）、次いで「人に相談して思いとどまった」「解決策が見つかった」（各 2 人、25.0%）となっている。

女性		人に相談して思いとどまった	家族や大切な人のことが頭に浮かんだ	解決策が見つかった	時間の経過とともに忘れさせてくれた	その他	無回答	計
20 代	人	1	1	0	1	3	2	8
	%	12.5	12.5	0.0	12.5	37.5	25.0	100.0
30 代	人	1	4	1	4	2	1	11
	%	9.1	36.4	9.1	36.4	18.2	9.1	100.0
40 代	人	1	1	0	2	2	1	6
	%	16.7	16.7	0.0	33.3	33.3	16.7	100.0
50 代	人	2	9	1	4	2	0	13
	%	15.4	69.2	7.7	30.8	15.4	0.0	100.0
60 代以上	人	6	6	4	9	4	2	27
	%	22.2	22.2	14.8	33.3	14.8	7.4	100.0

※□は最も高い数値、□は２番目に高いもの、□は３番目に高いもの

女性では、“20 代”で「人に相談して思いとどまった」「家族や大切な人のことが頭に浮かんだ」「時間の経過とともに忘れさせてくれた」（各 1 人、12.5%）となっている。

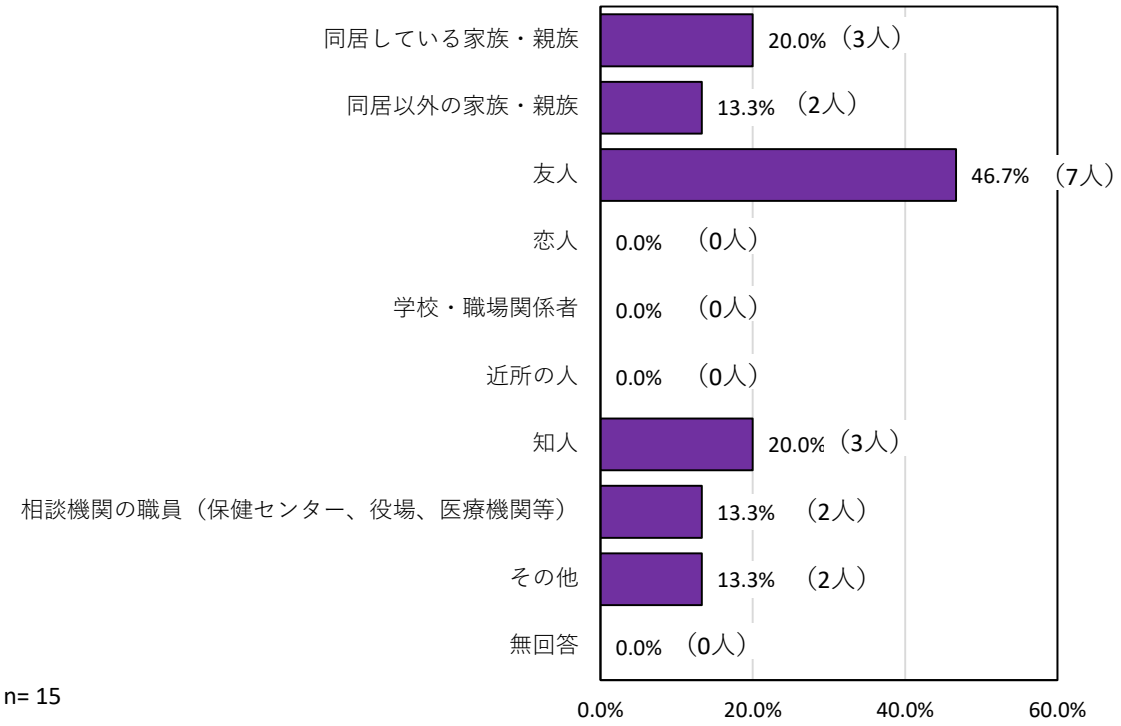
“30 代”では「家族や大切な人のことが頭に浮かんだ」「時間の経過とともに忘れさせてくれた」（各 4 人、36.4%）、次いで「人に相談して思いとどまった」「解決策が見つかった」（各 1 人、9.1%）となっている。

“40 代”では、「時間の経過とともに忘れさせてくれた」（2 人、33.3%）、次いで「人に相談して思いとどまった」「家族や大切な人のことが頭に浮かんだ」（各 1 人、16.7%）の順で高くなっている。

“50 代”では、「家族や大切な人のことが頭に浮かんだ」（9 人、69.2%）、次いで「時間の経過とともに忘れさせてくれた」（4 人、30.8%）、「人に相談して思いとどまった」（2 人、15.4%）の順となっている。

“60 代以上”では「時間の経過とともに忘れさせてくれた」（9 人、33.3%）、次いで「人に相談して思いとどまった」「家族や大切な人のことが頭に浮かんだ」（各 6 人、22.2%）となっている。

問 26　前の設問（問 25）で「１」に〇を付けた方に質問です。相談した相手の方はどなたでしたか。（〇はいくつでも）



「人に相談して思いとどまった」を回答した方が相談した相手は「友人」7 人（46.7%）が最も高く、次いで「同居している家族・親族」「知人」ともに 3 人（20.0%）、同居以外の家族・親族」「相談機関の職員」ともに 2 人（13.3%）の順で高くなっています。

【男女別年代別】※15～19 歳は 0 人だったため割愛

男性		同居している家族・親族	同居以外の家族・親族	友人	恋人	学校・職場関係者	近所の人	知人
20 代	人	0	1	0	0	0	0	0
	%	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30 代	人	0	0	0	0	0	0	0
	%							
40 代	人	0	0	0	0	0	0	0
	%							
50 代	人	0	0	0	0	0	0	0
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
60 代以上	人	0	1	1	0	0	0	1
	%	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0

男性		相談機関の職員（保健センター、役場、医療機関等）	その他	無回答	計
20 代	人	0	0	0	1
	%	0.0	0.0	0.0	100.0
30 代	人	0	0	0	0
	%				
40 代	人	0	0	0	0
	%				
50 代	人	0	1	0	1
	%	0.0	100.0	0.0	100.0
60 代以上	人	0	0	0	2
	%	0.0	0.0	0.0	100.0

男性では、“20 代”で「同居以外の家族・親族」（1 人、100.0%）、“60 代以上”で「同居以外の家族・親族」「友人」（各 1 人、50.0%）と回答がありました。

女性		同居している家族・親族	同居以外の家族・親族	友人	恋人	学校・職場関係者	近所の人	知人
20 代	人	0	0	0	0	0	0	0
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30 代	人	1	0	1	0	0	0	1
	%	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
40 代	人	0	0	1	0	0	0	0
	%	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
50 代	人	0	0	1	0	0	0	1
	%	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
60 代以上	人	2	0	3	0	0	0	0
	%	33.3	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0

女性		相談機関の職員（保健センター、役場、医療機関等）	その他	無回答	計
20 代	人	1	0	0	1
	%	100.0	0.0	0.0	100.0
30 代	人	0	0	0	1
	%	0.0	0.0	0.0	100.0
40 代	人	0	0	0	1
	%	0.0	0.0	0.0	100.0
50 代	人	1	0	0	2
	%	50.0	0.0	0.0	100.0
60 代以上	人	0	1	0	6
	%	0.0	16.7	0.0	100.0

※□は最も高い数値、□は２番目に高いもの、□は３番目に高いもの

女性では、“20 代”で「相談機関の職員（保健センター、役場、医療機関等）」（1 人、100.0%）となっている。

“30 代”では、「同居している家族・親族」「友人」「知人」（各 1 人、100.0%）となっている。

“40 代”では、「友人」（1 人、100.0%）となっている。

“50 代”では、「友人」「知人」「相談機関の職員（保健センター、役場、医療機関等）」（各 1 人、50.0%）となっている。

“60 代以上”では、「友人」（3 人、50.0%）、次いで「同居している家族・親族」（2 人、33.3%）の順となっている。